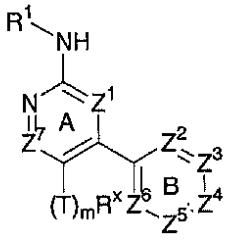
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2006-512314(P2006-512314A)
【公表日】平成18年4月13日(2006.4.13)
【年通号数】公開・登録公報2006-015
【出願番号】特願2004-550434(P2004-550434)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 239/42　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 405/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 409/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 401/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/505　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/506　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 11/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 21/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 239/42　ＣＳＰＺ
Ｃ０７Ｄ 405/12
Ｃ０７Ｄ 409/12
Ｃ０７Ｄ 401/12
Ａ６１Ｋ 31/505
Ａ６１Ｋ 31/506
Ａ６１Ｐ 43/00　１１１
Ａ６１Ｐ 37/02
Ａ６１Ｐ 25/00
Ａ６１Ｐ 35/00
Ａ６１Ｐ 37/08
Ａ６１Ｐ 11/06
Ａ６１Ｐ 19/02
Ａ６１Ｐ 29/00　１０１
Ａ６１Ｐ 21/04
Ａ６１Ｐ 35/02

【誤訳訂正書】
【提出日】平成18年7月20日(2006.7.20)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】
【請求項１】
式Ｉの化合物またはそれらの薬学的に受容可能な塩：
【化１】



Ｉ

ここで：
R^1は、Ｑ－Ａｒ^{1}である、
Ｑは、結合または$C_{1\sim2}$アルキリデン鎖であり、ここで、Ｑの１個のメチレン単位は、必要に応じて、Ｏ、ＮＲ、ＮＲＣＯ、ＮＲＣＯＮＲ、ＮＲCO_2、ＣＯ、CO_2、ＣＯＮＲ、ＯＣ（Ｏ）ＮＲ、SO_2、SO_2ＮＲ、ＮＲSO_2、ＮＲSO_2ＮＲ、Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）または$C(O)CH_2C(O)$で置き換えられる；
Ａｒ^{1}は、５～７員の飽和、部分不飽和、もしくは完全不飽和の単環または８～１２員の飽和、部分不飽和、もしくは完全不飽和の二環式環系であり、該単環は、０～３個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素、もしくは硫黄から選択され、そして該二環式環系は、０～５個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素、または硫黄から選択される；ここで、Ａｒ^{1}は、必要に応じて、Ｚ－R^Zの出現とは別個に、ｑで置換される；ここで、ｑは０～５であり、Ｚは、結合またはC_1～C_6アルキリデン鎖であり、Ｚの２個までの隣接していないメチレン単位は、必要に応じて、別個に、ＣＯ、CO_2、ＣＯＣＯ、ＣＯＮＲ、ＯＣＯＮＲ、ＮＲＮＲ、ＮＲＮＲＣＯ、ＮＲＣＯ、ＮＲCO_2、ＮＲＣＯＮＲ、ＳＯ、SO_2、ＮＲSO_2、SO_2ＮＲ、ＮＲSO_2ＮＲ、Ｏ、Ｓ、もしくはＮＲで置き換えられ；そして
R^Zの各出現例は、別個に、Ｒ’、ハロゲン、NO_2、ＣＮ、ＯＲ’、ＳＲ’、Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’ＣＯＲ’、ＮＲ’ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’CO_2Ｒ’、ＣＯＲ’、CO_2Ｒ’、ＯＣＯＲ’、ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＯＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＳＯＲ’、SO_2Ｒ’、SO_2Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’SO_2Ｒ’、ＮＲ’SO_2Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＣＯＣＯＲ’、もしくは$COCH_2COR'$から選択される；
Ｒの各出現例は、別個に、水素または必要に応じて置換した$C_{1\sim6}$脂肪族基であり；そしてＲ’の各出現は、水素または必要に応じて置換した$C_{1\sim6}$脂肪族基、３～８員の飽和、部分不飽和、もしくは完全不飽和の単環または８～１２員の飽和、部分不飽和、完全不飽和の二環式環系であり、該単環は、０～３個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され、そして該二環式環系は、０～５個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択されるか；あるいは、ＲおよびＲ’、Ｒの２個の出現例、またはＲ’の２個の出現例は、それらが結合する原子と一緒になって、必要に応じて置換した３～１２員環の飽和、部分不飽和、完全不飽和の単環もしくは二環を形成し、該単環または二環は、０～４個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択される；
Z^1は、ＮまたはＣＨである；
Z^7は、ＮまたはＣ（Ｕ）$_n$$R^Y$である；
ＴおよびＵは、それぞれ別個に、結合または飽和もしくは不飽和のC_{1-6}アルキリデン鎖であり、ここで、該鎖の２個までのメチレン単位は、必要に応じて、別個に、ＣＯ、CO_2、ＣＯＣＯ、ＣＯＮＲ、ＯＣＯＮＲ、ＮＲＮＲ、ＮＲＮＲＣＯ、ＮＲＣＯ、ＮＲＣ

O_2、NRCONR、SO、SO_2、$NRSO_2$、SO_2NR、$NRSO_2NR$、O、S、もしくはNRで置き換えられる；

mおよびnは、それぞれ別個に、0または1である；

R^XおよびR^Yは、それぞれ別個に、RまたはAr[1]から選択される；

Z^2は、NまたはCR[2]であり；Z^3は、NまたはCR[3]であり；Z^4は、NまたはCR[4]であり；Z^5は、NまたはCR[5]であり；そしてZ^6は、NまたはCR[6]であり、ここで各R[2]、R[3]、R[4]、R[5]もしくはR[6]の出現は、別個に、R^uまたは$(V)_pR^V$であり、ただし、a）Z^2、Z^3、Z^4、Z^5もしくはZ^6の3個以下はNであり、かつb）Z^3、Z^4もしくはZ^5の少なくとも1個は、それぞれCR[3]、CR[4]、もしくはCR[5]であり、そしてR[3]、R[4]、またはR[5]の少なくとも1個は、R^Uである、

R^uの各出現例は、NRCOR[7]、CONR(R[7])、$SO_2NR(R^7)$、$NRSO_2R^7$、NRCONR(R[7])、$NRSO_2NR(R^7)$、もしくはCONRNR(R[7])であり、ここで、R[7]は、$(CH_2)_t-Y-R^8$であり、そしてtは、0、1、もしくは2であり、Yは、結合またはO、S、NR^9、$-OCH_2-$、$-SCH_2$、$-NR^9CH_2$、$O(CH_2)_2-$、$-S(CH_2)_2-$、もしくは$-NR^9(CH_2)_2$であり、そしてR[8]は、Ar[2]であるか、またはR[8]およびR[9]は、窒素原子と一緒になって、必要に応じて置換した5～8員のヘテロシクリルもしくはヘテロアリール環を形成し、該環は、1～3個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択される；

Vの各出現例は、結合または飽和もしくは不飽和の$C_{1\sim6}$アルキリデン鎖であり、該鎖の2個までのメチレン単位は、必要に応じて、別個に、CO、CO_2、COCO、CONR、OCONR、NRNR、NRNRCO、NRCO、$NRCO_2$、NRCONR、SO、SO_2、$NRSO_2$、SO_2NR、$NRSO_2NR$、O、S、もしくはNRで置き換えられる；

pの各出現例は、0または1である；

R^Vの各出現例は、RまたはAr[2]である；そして

Ar[2]は、5～7員の飽和、部分不飽和もしくは完全不飽和の単環または8～12員の飽和、部分不飽和もしくは完全不飽和の二環式環系であり、該単環は、0～3個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され、そして該二環式環系は、0～5個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され；ここで、Ar[2]は、別個に、r個の$W-R^W$の出現例で必要に応じて置換され；ここで、rは、0～3であり、Wは、結合または$C_1\sim C_6$アルキリデン鎖であり、Wの2個までの隣接していないメチレン単位は、必要に応じて、CO、CO_2、COCO、CONR、OCONR、NRNR、NRNRCO、NRCO、$NRCO_2$、NRCONR、SO、SO_2、$NRSO_2$、SO_2NR、$NRSO_2NR$、O、S、もしくはNRで置き換えられる；そしてR^Wの各出現例は、別個に、R'、ハロゲン、NO_2、CN、OR'、SR'、$N(R')_2$、NR'COR'、NR'CON(R')[2]、$NR'CO_2R'$、COR'、CO_2R'、OCOR'、$CON(R')_2$、$OCON(R')_2$、SOR'、SO_2R'、$SO_2N(R')_2$、$NR'SO_2R'$、$NR'SO_2N(R')_2$、COCOR'、もしくは$COCH_2COR'$から選択される；

ただし、以下：

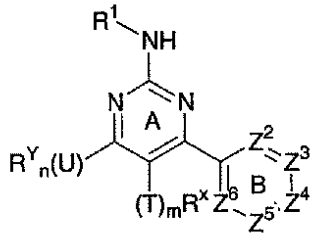
a）Z[1]がNであり、Z[7]が、CHであり；かつ環Bが、フェニルであり、そしてR[3]もしくはR[4]の少なくとも1個が、NHCOR[7]である場合、R[1]は、OR'の2または3個の出現例でのみ置換したフェニルではない；そして

b）Z[1]がNであり、Z[7]が、CHであり；かつ環Bが、フェニルであり、そしてR[3]もしくはR[4]の少なくとも1個が、NHCOR[7]、SO_2R^7、CONRR[7]である場合、R[1]は、パラ位置における$-CON(R')_2$の出現例でのみ置換されるフェニルではない、

化合物。

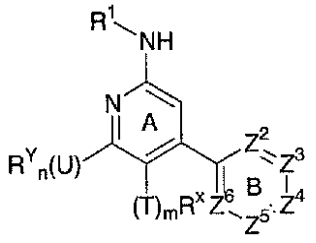
【請求項2】

請求項１に記載の化合物であって、Z^1は、Ｎであり、該化合物は、以下の構造ＩＩ：
【化２】



II

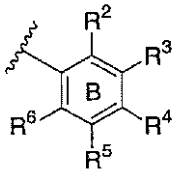
を有する、化合物。
【請求項３】
請求項１に記載の化合物であって、Z^1は、ＣＨであり、以下の一般式ＩＩＩ：
【化３】

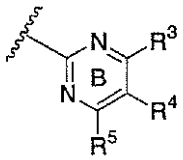


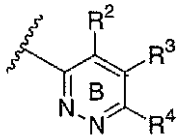
III

のアミノピリジンが提供される、化合物。
【請求項４】
請求項１に記載の化合物であって、R^1が、必要に応じて置換したフェニル、シクロヘキシル、シクロペンチル、ピリジル、モルホリノ、ピペラジニルまたはピペリジニル基である、化合物。
【請求項５】
請求項１に記載の化合物であって、R^1は、必要に応じて置換したフェニル、シクロヘキシル、もしくはピリジル基である、化合物。
【請求項６】
R^1が、必要に応じて置換したフェニルである、請求項１に記載の化合物。
【請求項７】
請求項１に記載の化合物であって、ｑは、０、１、２、もしくは３であり、ZR^Zの各出現例は、$C_{1\sim4}$アルキル、Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＯＲ’、ＳＲ’、ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’ＣＯＲ’、ＮＲ’SO_2Ｒ’、もしくはSO_2Ｎ（Ｒ’）$_2$である、化合物。
【請求項８】
請求項１に記載の化合物であって、ｑは、１であり、そしてZR^Zは、－NH_2、－ＯＨ、$C_{1\sim4}$アルコキシもしくは－Ｓ（Ｏ）$_2$$NH_2$である、化合物。
【請求項９】
請求項１に記載の化合物であって、ｑは、１であり、そしてZR^Zは、メタ位置であり、そしてZR^Zは、－NH_2、－ＯＨ、$C_{1\sim4}$アルコキシもしくは－Ｓ（Ｏ）$_2$$NH_2$である、化合物。
【請求項１０】
請求項１に記載の化合物であって、（Ｔ）$_m$$R^X$および（Ｕ）$_n$$R^Y$は、水素、ハロゲン、$NO_2$、ＣＮ、ＯＲ、ＳＲまたはＮ（Ｒ）$_2$、または$C_{1\sim4}$脂肪族であり、該$C_{1\sim4}$脂肪族は、オキソ、ＯＲ、ＳＲ、Ｎ（Ｒ）$_2$、ハロゲン、$NO_2$もしくはＣＮで必要に応じて置換されている、化合物。

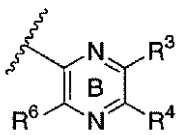
【請求項１１】
請求項１に記載の化合物であって、（Ｔ）$_m$Ｒ^{X}および（Ｕ）$_n$Ｒ^{Y}は、それぞれ別個に、水素、Ｍｅ、ＯＨ、ＯＭｅまたはＮ（Ｒ）$_2$である、化合物。
【請求項１２】
（Ｔ）$_m$Ｒ^{x}および（Ｕ）$_n$Ｒ^{Y}が、それぞれ水素である、請求項１に記載の化合物。
【請求項１３】
環Ｂが、以下の環ｉ－ｘｉｖ：
【化４－１】

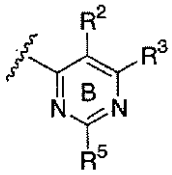

i

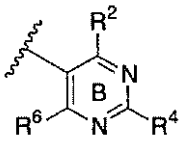

ii

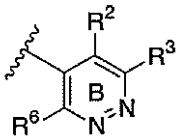

iii

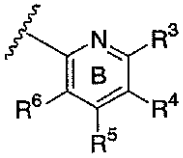
【化４－２】

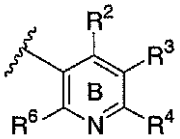

iv

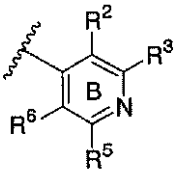

v

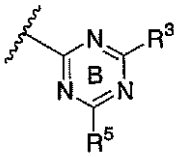

vi

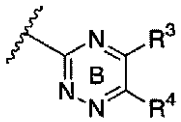

vii

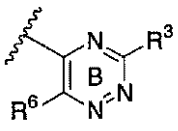

viii

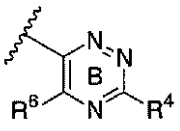

ix


x


xi

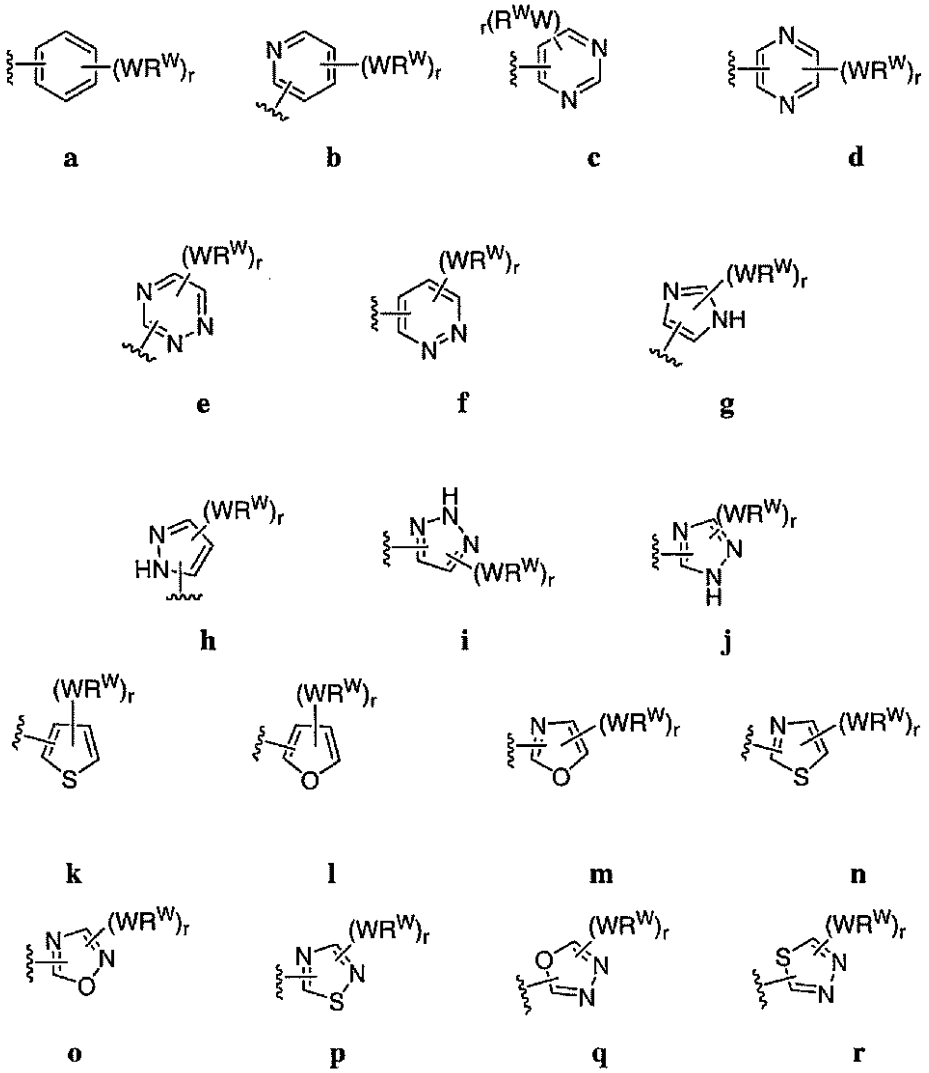

xii


xiii


xiv

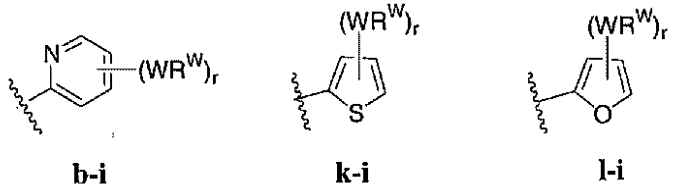
のうちの１つである、請求項１に記載の化合物。
【請求項１４】
ｔが、０であり、Ｙが、結合であり、そしてＲ^{8}が、必要に応じて置換したアリールまたはヘテロアリール部分である、請求項１に記載の化合物。
【請求項１５】
ｔが、０であり、Ｙが、結合であり、Ｒ^{8}が、必要に応じて置換したヘテロアリール部

分である、請求項１に記載の化合物。
【請求項１６】
R^7が、－CH_2－Y－R^8であり、そしてYが、NR^9、ＯまたはＳであり、そしてR^8が、必要に応じて置換したアリールまたはヘテロアリール部分である、請求項１に記載の化合物。
【請求項１７】
R^7が、－CH_2－Y－R^8であり、そしてYが、NR^9、ＯまたはＳであり、そしてR^8が、必要に応じて置換したアリール部分である、請求項１に記載の化合物。
【請求項１８】
請求項１に記載の化合物であって、ｔが、０または１であり、Ｙが、NR^9であり、そして、R^8およびR^9が、前記窒素原子と一緒になって、５～８員のヘテロシクリルまたはヘテロアリール環を形成し、該環は、１～３個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素、または硫黄から選択される、化合物。
【請求項１９】
請求項１に記載の化合物であって、R^8が、以下の式：
【化５】



のうちの１つを有する、５員または６員のアリール基またはヘテロアリール基である、化合物。
【請求項２０】
請求項１に記載の化合物であって、R^8が、以下の式：

【化６】



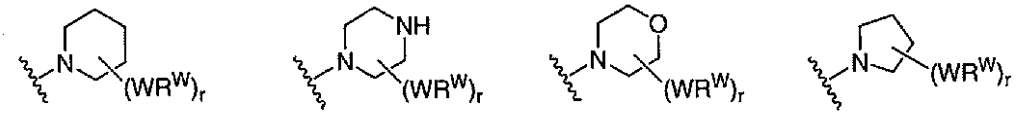
b-i **k-i** **l-i**

のうちの１つを有する、５員または６員のヘテロアリール基である、化合物。

【請求項２１】

請求項１に記載の化合物であって、R^8 および R^9 は、一緒になって、以下の式：

【化７】



s **t** **u** **v**

のうちの１つを有する基を形成する、化合物。

【請求項２２】

前記ｒが、０または１である、請求項１に記載の化合物。

【請求項２３】

請求項１９、２０、または２１に記載の化合物であって、ｒが、１、２、または３であり、そしてハロゲン、$C_{1\sim4}$ アルキル、－（Ｒ）$_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－SO_2Ｎ（Ｒ）$_2$、－Ｎ（Ｒ）SO_2Ｒ、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－Ｎ（Ｒ）$_2$、－CH_2ＯＲ、－CH_2Ｎ（Ｒ）$_2$、または－CH_2ＳＲの各出現例である、化合物。

【請求項２４】

請求項１９、２０、または２１に記載の化合物であって、ｔが、０であり、Ｙが、結合であり、そしてR^8が、必要に応じて置換したヘテロアリール部分であり、該ヘテロアリール部分は、基ｂ～ｒのうちの１個から選択される、化合物。

【請求項２５】

R^8が、必要に応じて置換したヘテロアリール基ｂ－ｉ、ｋ－ｉ、またはｌ－ｉである、請求項２４に記載の化合物。

【請求項２６】

ｔが、１であり、ＹがＯ、ＳまたはＮR^9であり、R^8が、必要に応じて置換したフェニルである、請求項１に記載の化合物。

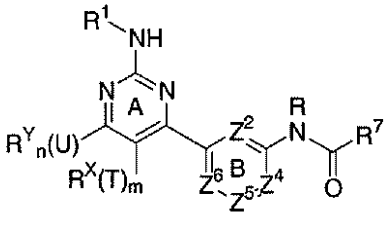
【請求項２７】

ｔが、０または１であり、Ｙが、ＮR^9であり、そしてR^8およびR^9が、一緒になって、必要に応じて置換した基を形成し、該基が、ｓ、ｕまたはｖから選択される、請求項１に記載の化合物。

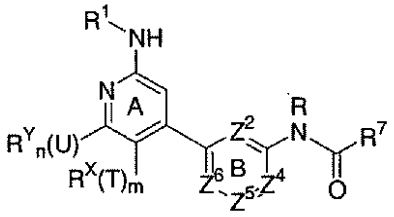
【請求項２８】

請求項１に記載の化合物であって、Z^3またはZ^5は、それぞれ、ＣR^3またはＣR^5であり、そしてR^3またはR^5は、ＮＲＣ（Ｏ）R^7であり、ここで、R^7は、（CH_2）$_t$－Ｙ－R^8であり、ここで、ｔは、０、１または２であり、Ｙは、結合であるか、またはＯ、Ｓ、ＮR^9、－ＯCH_2－、－ＳCH_2、－ＮR^9 CH_2、Ｏ（CH_2）$_2$－、－Ｓ（CH_2）$_2$、もしくは－ＮR^9（CH_2）$_2$であり、そしてR^8は、Ａｒ^{2}であるか、またはR^8およびR^9は、窒素原子と一緒になって、５～８員のヘテロシクリルもしくはヘテロアリール環を形成し、該環は、１～３個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩ－ＡまたはＩＩＩ－Ａ：

【化８】



II-A



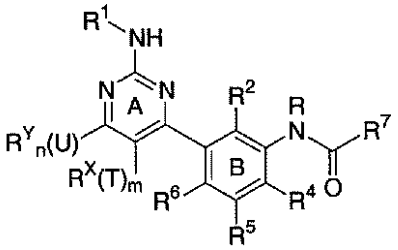
III-A

を有する、化合物。

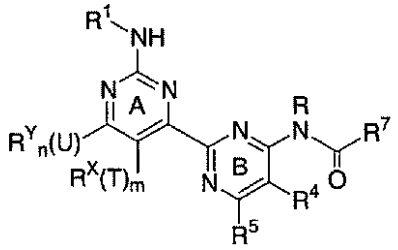
【請求項２９】

請求項２８に記載の化合物であって、式ＩＩ－Ａの化合物について、環Ｂが、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖ、ｖｉｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘ、ｘｉ、ｘｉｉもしくはｘｉｉｉから選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩ－Ａ－ｉ、ＩＩ－Ａ－ｉｉ、ＩＩ－Ａ－ｉｉｉ、ＩＩ－Ａ－ｉｖ、ＩＩ－Ａ－ｖ、ＩＩ－Ａ－ｖｉｉ、ＩＩ－Ａ－ｖｉｉｉ、ＩＩ－Ａ－ｉｘ、ＩＩ－Ａ－ｘ、ＩＩ－Ａ－ｘｉ、ＩＩ－Ａ－ｘｉｉもしくはＩＩ－Ａ－ｘｉｉｉ：

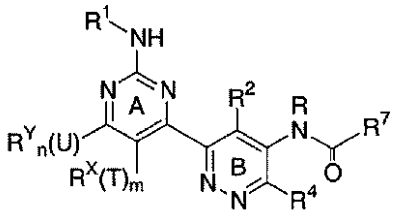
【化９－１】



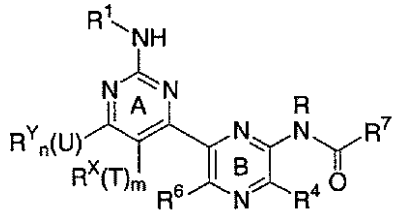
II-A-i



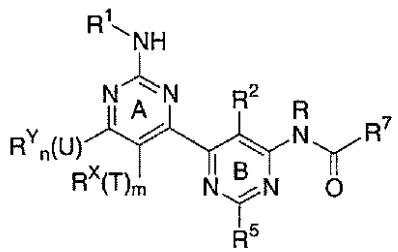
II-A-ii

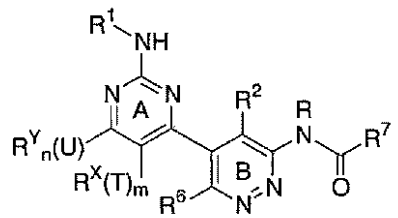


II-A-iii



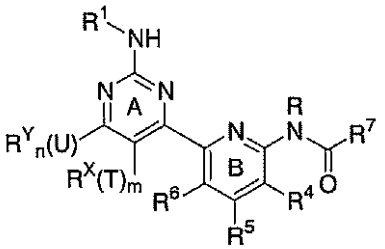
II-A-iv



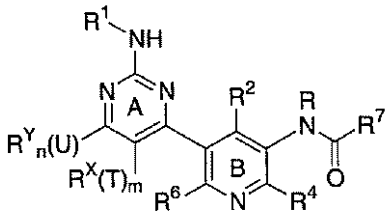


【化９－２】

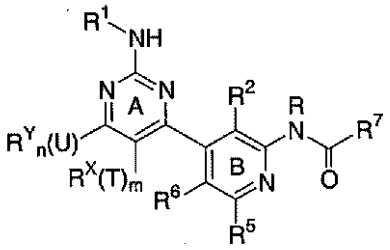
II-A-v



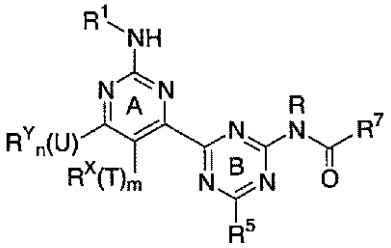
II-A-vii



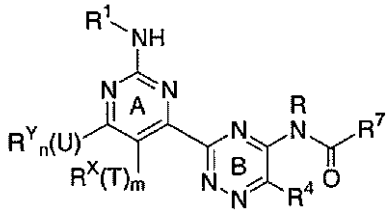
II-A-viii



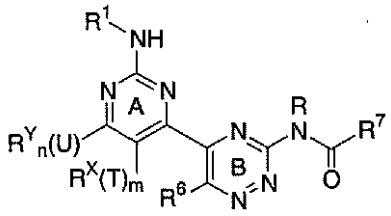
II-A-ix



II-A-x



II-A-xi



II-A-xii

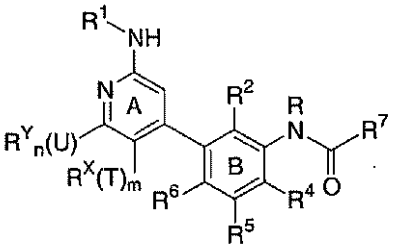
II-A-xiii

のうちの１個を有する、化合物。

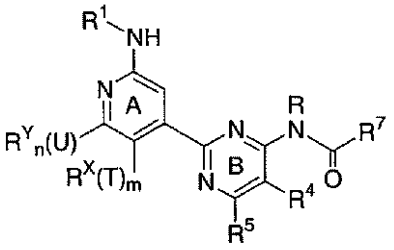
【請求項３０】

請求項２８に記載の化合物であって、式ＩＩＩＡの化合物について、環Ｂが、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖ、ｖｉｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘ、ｘｉ、ｘｉｉもしくはｘｉｉｉから選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩＩ－Ａ－ｉ、ＩＩＩ－Ａ－ｉｉ、ＩＩＩ－Ａ－ｉｉｉ、ＩＩＩ－Ａ－ｉｖ、ＩＩＩ－Ａ－ｖ、ＩＩＩ－Ａ－ｖｉｉ、ＩＩＩ－Ａ－ｖｉｉｉ、ＩＩＩ－Ａ－ｉｘ、ＩＩＩ－Ａ－ｘ、ＩＩＩ－Ａ－ｘｉ、ＩＩＩ－Ａ－ｘｉｉもしくはＩＩＩ－Ａ－ｘｉｉｉ：

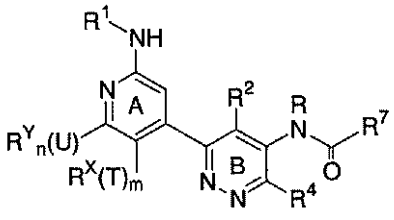
【化１０－１】



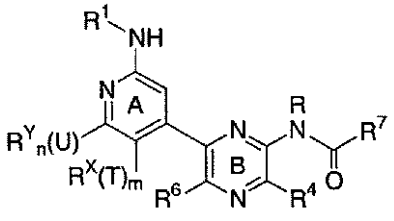
III-A-i



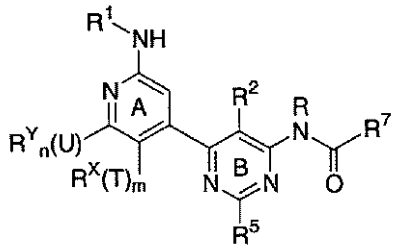
III-A-ii



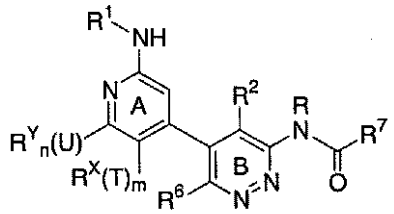
III-A-iii



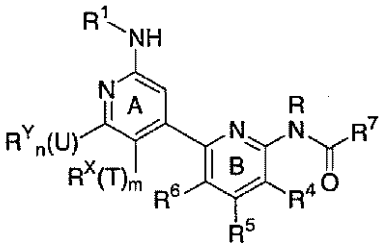
III-A-iv



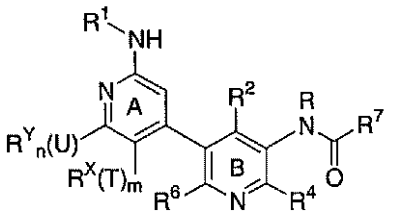
III-A-v



III-A-vii

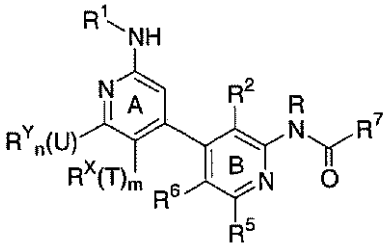


III-A-viii

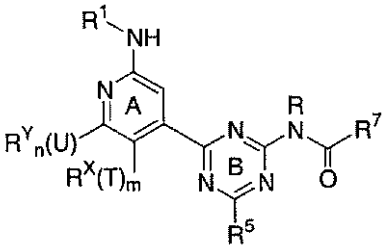


III-A-ix

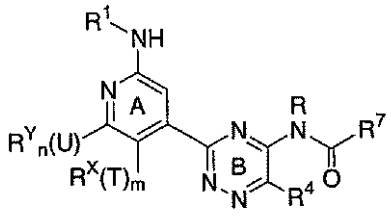
【化１０－２】



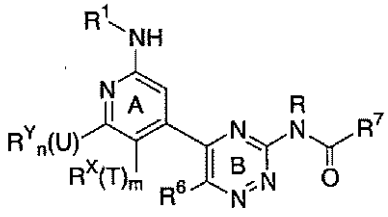
III-A-x



III-A-xi



III-A-xii



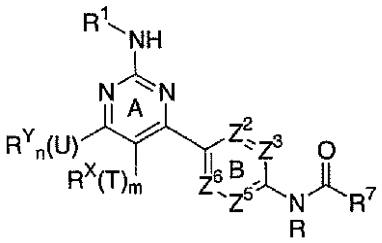
III-A-xiii

のうちの１個を有する、化合物。

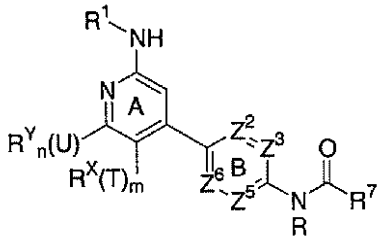
【請求項３１】

請求項１に記載の化合物であって、前記Z^4は、CR^4であり、そしてR^4は、$NRC(O)R^7$であり、ここで、R^7は、$(CH_2)_t-Y-R^8$であり、ｔは、０、１もしくは２であり、Ｙは、結合であるか、またはＯ、Ｓ、NR^9、$-OCH_2-$、$-SCH_2$、NR^9CH_2、$O(CH_2)_2-$、$-S(CH_2)_2$、もしくは$-NR^9(CH_2)_2$であり、そしてR^8は、Ar^2であるか、またはR^8およびR^9は、窒素原子と一緒になって、５～８員のヘテロシクリルもしくはヘテロアリール環を形成し、該環は、１～３個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素、もしくは硫黄から選択され、化合物は、以下の式ＩＩ－ＢもしくはＩＩＩ－Ｂ：

【化１１】



II-B



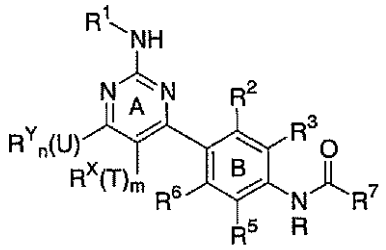
III-B

のうちの１個を有する、化合物。

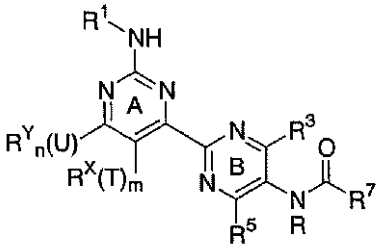
【請求項３２】

請求項３１に記載の化合物であって、式ＩＩ－Ｂの化合物について、環Ｂは、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘｉｉ、またはｘｉｖから選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩ－Ｂ－ｉ、ＩＩ－Ｂ－ｉｉ、ＩＩ－Ｂ－ｉｉｉ、ＩＩ－Ｂ－ｉｖ、ＩＩ－Ｂ－ｖｉ、ＩＩ－Ｂ－ｖｉｉｉ、ＩＩ－Ｂ－ｉｘ、ＩＩ－Ｂ－ｘｉｉ、またはＩＩ－Ｂ－ｘｉｖ：

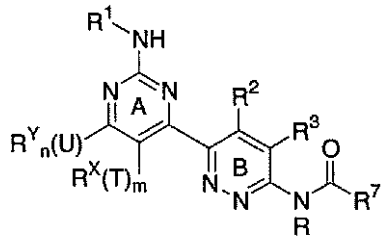
【化１２－１】



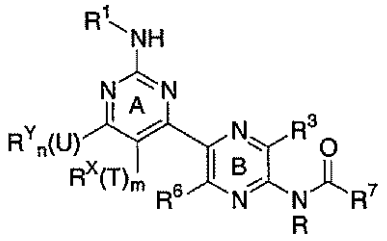
II-B-i



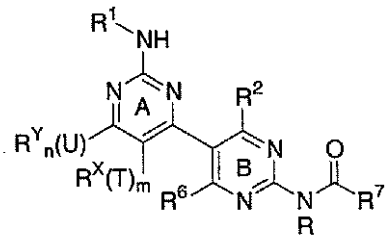
II-B-ii



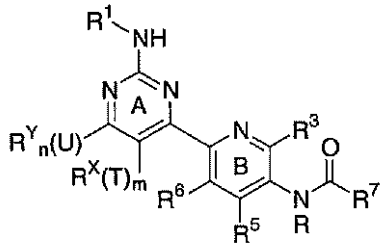
II-B-iii



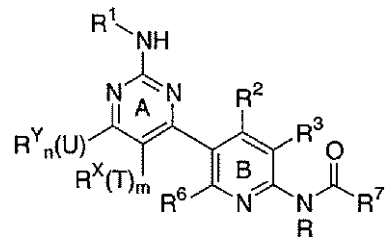
II-B-iv



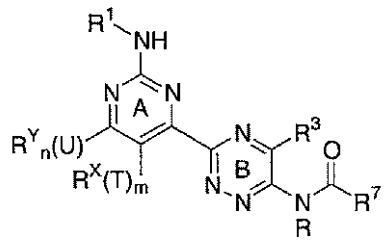
II-B-vi



II-B-viii

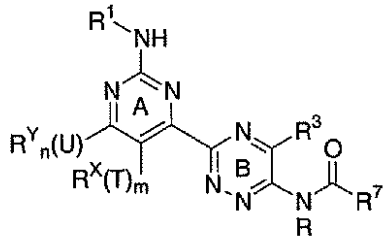


II-B-ix



II-B-xii

【化１２－２】



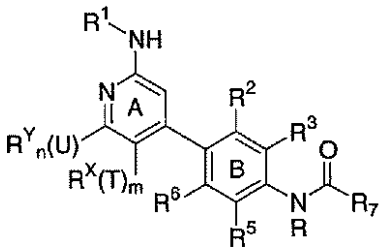
II-B-xiv

のうちの１個を有する、化合物。

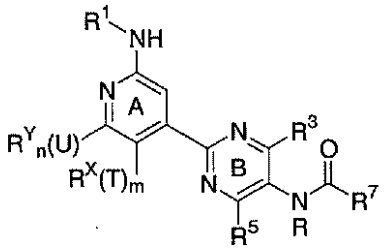
【請求項３３】

請求項３１に記載の化合物であって、式ＩＩＩ－Ｂの化合物について、環Ｂは、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘｉｉ、またはｘｉｖから選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩＩ－Ｂ－ｉ、ＩＩＩ－Ｂ－ｉｉ、ＩＩＩ－Ｂ－ｉｉｉ、ＩＩＩ－Ｂ－ｉｖ、ＩＩＩ－Ｂ－ｖｉ、ＩＩＩ－Ｂ－ｖｉｉｉ、ＩＩＩ－Ｂ－ｉｘ、ＩＩＩ－Ｂ－ｘｉｉ、またはＩＩＩ－Ｂ－ｘｉｖ：

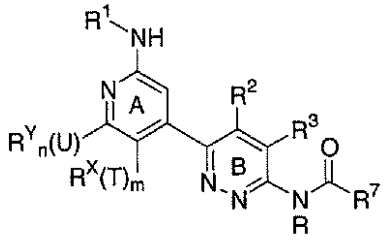
【化１３－１】



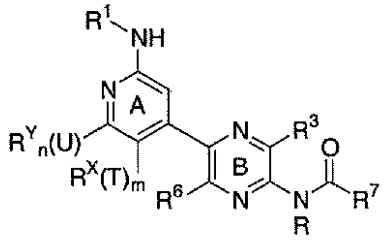
III-B-i



III-B-ii

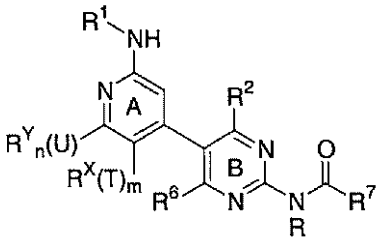


III-B-iii

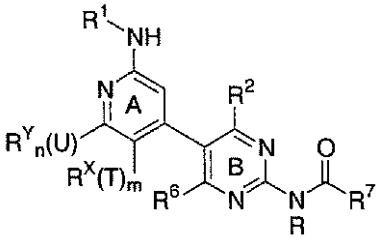


III-B-iv

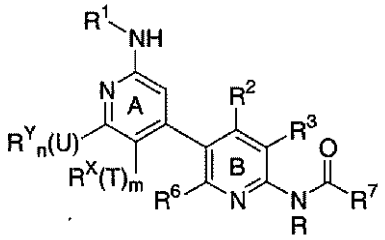
【化１３－２】



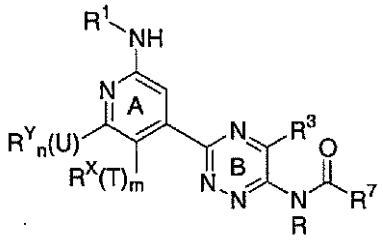
III-B-vi



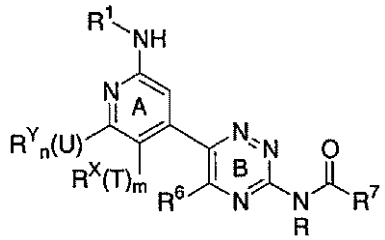
III-B-viii



III-B-ix



III-B-xii



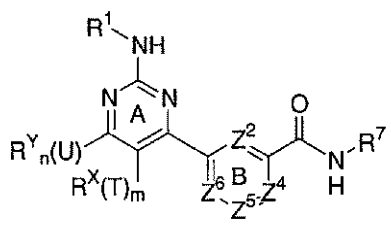
III-B-xiv

のうちの１個を有する、化合物。

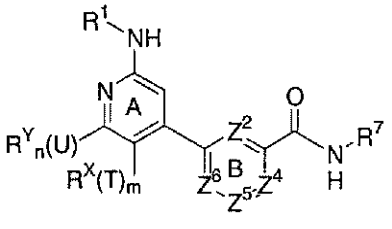
【請求項３４】

請求項１に記載の化合物であって、ここで、Z^3またはZ^5は、それぞれ、CR^3またはCR^5であり、そしてR^3またはR^5は、C（O）N（R）（R^7）であり、R^7は、$(CH_2)_t$－Y－R^8であり、tは、０、１または２であり、Yは、結合であるか、またはO、S、NR^9、$-OCH_2-$、$-SCH_2$、$-NR^9CH_2$、$O(CH_2)_2-$、$-S(CH_2)_2$、または$-NR^9(CH_2)_2$であり、そしてR^8は、Ar^2であるか、またはR^8およびR^9は、窒素原子と一緒になって、５～８員のヘテロシクリルもしくはヘテロアリール環を形成し、該環は、１～３個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素、もしくは硫黄から選択され、化合物は、以下の式ＩＩ－ＣもしくはＩＩＩ－Ｃ：

【化１４】



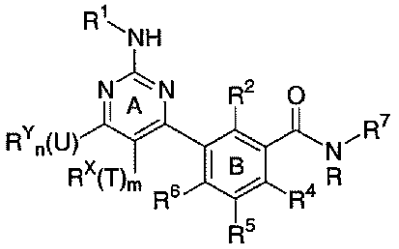
II-C



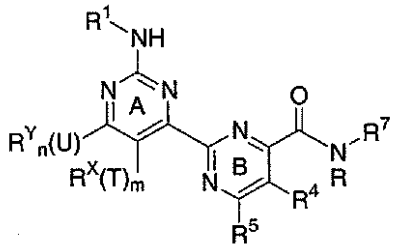
III-C

のうちの１個を有する、化合物。

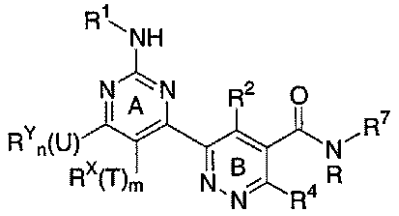
【請求項３５】
請求項３４に記載の化合物であって、式ＩＩ－Ｃの化合物について、環Ｂは、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖ、ｖｉｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘ、ｘｉ、ｘｉｉ、またはｘｉｉｉから選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩ－Ｃ－ｉ、ＩＩ－Ｃ－ｉｉ、ＩＩ－Ｃ－ｉｉｉ、ＩＩ－Ｃ－ｉｖ、ＩＩ－Ｃ－ｖ、ＩＩ－Ｃ－ｖｉｉ、ＩＩ－Ｃ－ｖｉｉｉ、ＩＩ－Ｃ－ｉｘ、ＩＩ－Ｃ－ｘ、ＩＩ－Ｃ－ｘｉ、ＩＩ－Ｃ－ｘｉｉ、またはＩＩ－Ｃ－ｘｉｉｉ：
【化１５－１】



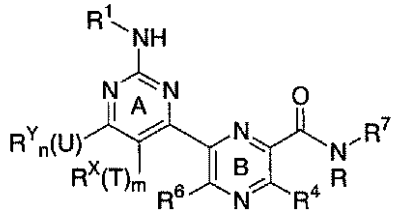
II-C-i



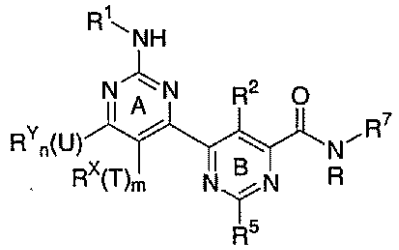
II-C-ii



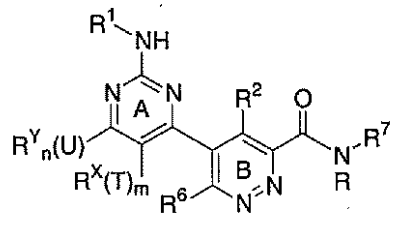
II-C-iii



II-C-iv

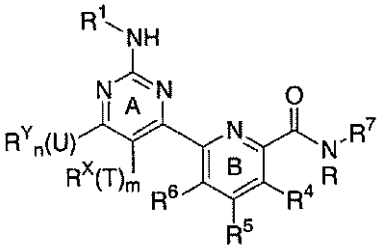


II-C-v

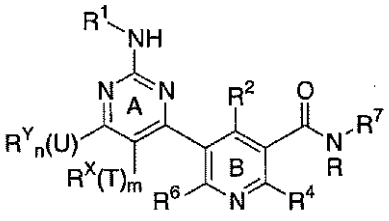


II-C-vii

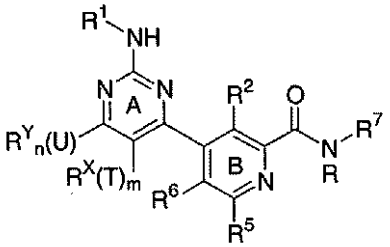
【化１５－２】



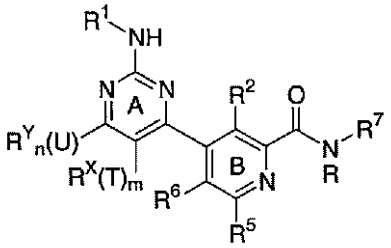
II-C-viii



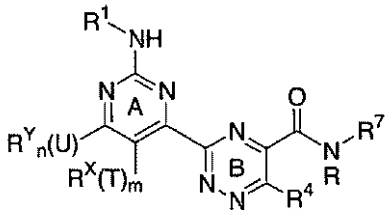
II-C-ix



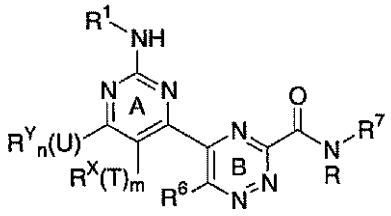
II-C-x



II-C-xi



II-C-xii



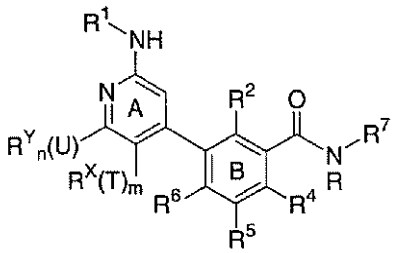
II-C-xiii

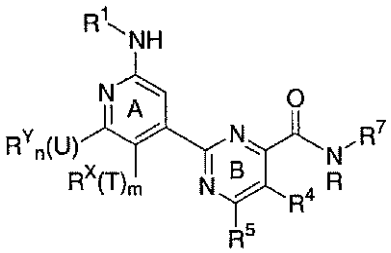
のうちの１個を有する、化合物。

【請求項３６】

請求項３４に記載の化合物であって、式ＩＩＩ－Ｃの化合物について、環Ｂは、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖ、ｖｉｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘ、ｘｉ、ｘｉｉ、またはｘｉｉｉから選択され、そして化合物は、以下に記載される式ＩＩＩ－Ｃ－ｉ、ＩＩＩ－Ｃ－ｉｉ、ＩＩＩ－Ｃ－ｉｉｉ、ＩＩＩ－Ｃ－ｉｖ、ＩＩＩ－Ｃ－ｖ、ＩＩＩ－Ｃ－ｖｉｉ、ＩＩＩ－Ｃ－ｖｉｉｉ、ＩＩＩ－Ｃ－ｉｘ、ＩＩＩ－Ｃ－ｘ、ＩＩＩ－Ｃ－ｘｉ、ＩＩＩ－Ｃ－ｘｉｉ、またはＩＩ－Ｃ－ｘｉｉｉ：

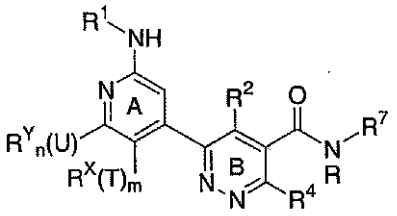
【化１６－１】



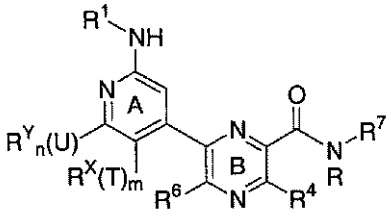


【化１６－２】

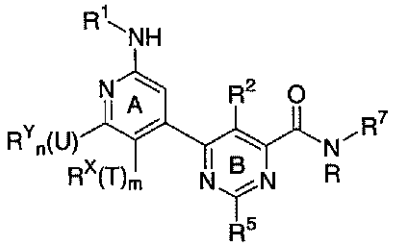
III-C-i



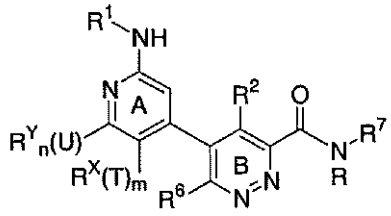
III-C-ii



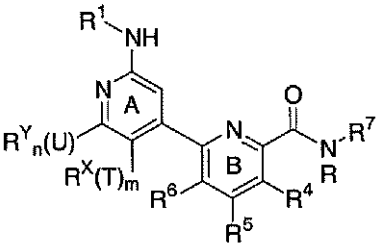
III-C-iii



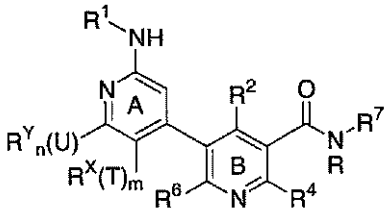
III-C-iv



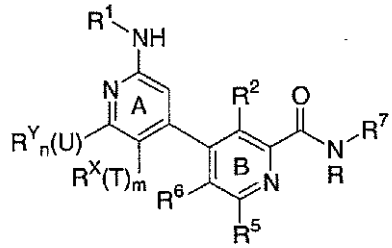
III-C-v



III-C-vii



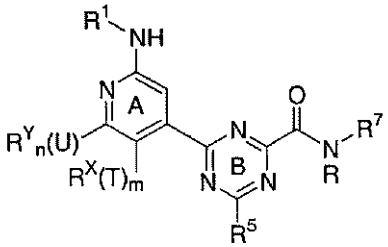
III-C-viii



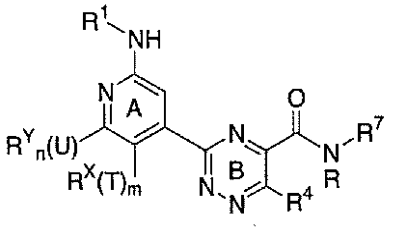
III-C-ix

III-C-x

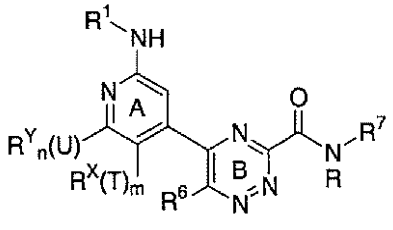
III-C-xi



【化１６－３】



III-C-xii



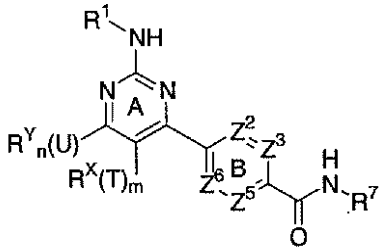
III-C-xiii

のうちの１個を有する、化合物。

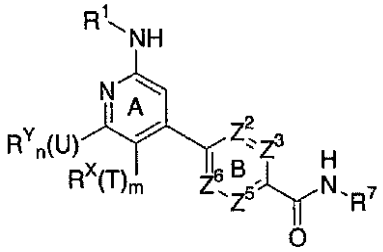
【請求項３７】

請求項１に記載の化合物であって、Z^4は、CR^4であり、R^4は、C（O）N（R）（R^7）であり、R^7は、$(CH_2)_t Y-R^8$であり、tは、０、１または２であり、Yは、結合であるか、あるいはO、S、NR^9、$-OCH_2-$、$-SCH_2$、NR^9CH_2、$O(CH_2)_2-$、$-S(CH_2)_2$、または$-NR^9(CH_2)_2$であり、そしてR^8は、Ar^2であるか、あるいはR^8およびR^9は、窒素原子と一緒になって、５～８員のヘテロシクリルもしくはヘテロアリール環を形成し、該環は、１～３個のヘテロ原子を有し、該ヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素、もしくは硫黄から選択され、化合物は、以下の式ＩＩ－ＤまたはＩＩＩ－Ｄ：

【化１７】



II-D



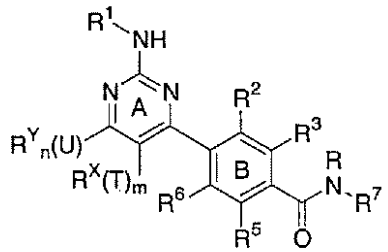
III-D

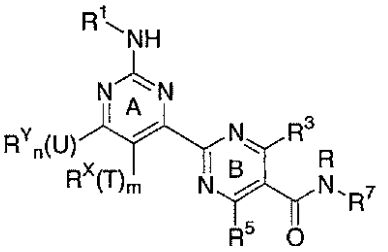
のうちの１個を有する、化合物。

【請求項３８】

請求項３７に記載の化合物であって、式ＩＩ－Ｄの化合物について、環Ｂは、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘｉｉ、またはｘｉｖから選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩ－Ｄ－ｉ、ＩＩ－Ｄ－ｉｉ、ＩＩ－Ｄ－ｉｉｉ、ＩＩ－Ｄ－ｉｖ、ＩＩ－Ｄ－ｖｉ、ＩＩ－Ｄ－ｖｉｉｉ、ＩＩ－Ｄ－ｉｘ、ＩＩ－Ｄ－ｘｉｉ、またはＩＩ－Ｄ－ｘｉｖ：

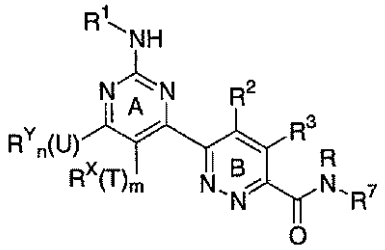
【化１８－１】



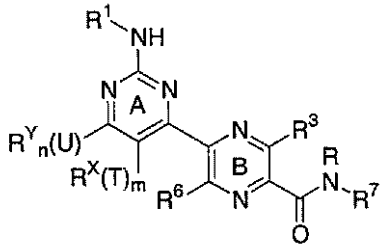


【化１８－２】

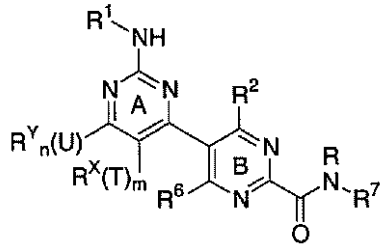
II-D-i



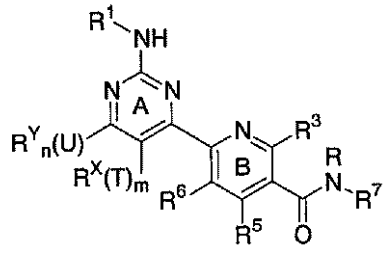
II-D-ii



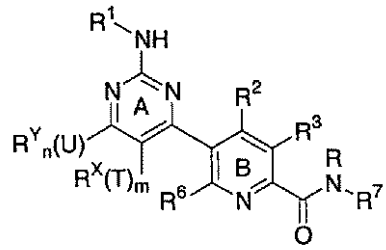
II-D-iii



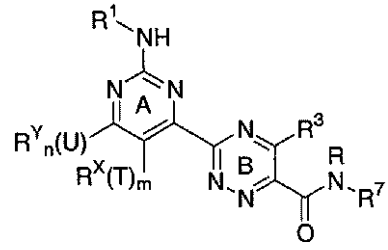
II-D-iv



II-D-vi



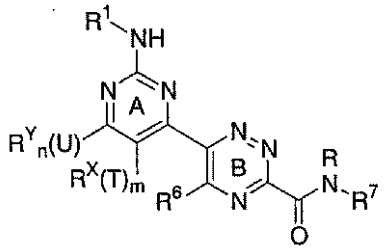
II-D-viii



II-D-ix

II-D-xii

II-D-xiv

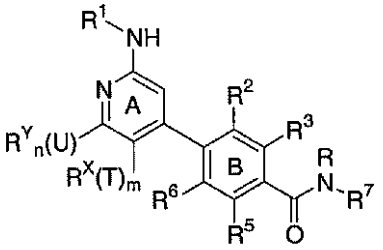


のうちの１個を有する、化合物。

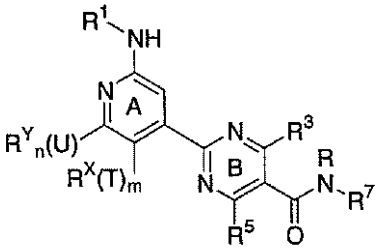
【請求項３９】

請求項３７に記載の化合物であって、式ＩＩＩ－Ｄの化合物について、環Ｂは、ｉ、ｉｉ、ｉｉｉ、ｉｖ、ｖｉ、ｖｉｉｉ、ｉｘ、ｘｉｉ、またはｘｉｖから選択され、そして化合物は、以下の式ＩＩＩ－Ｄ－ｉ、ＩＩＩ－Ｄ－ｉｉ、ＩＩＩ－Ｄ－ｉｉｉ、ＩＩＩ－Ｄ－ｉｖ、ＩＩＩ－Ｄ－ｖｉ、ＩＩＩ－Ｄ－ｖｉｉｉ、ＩＩＩ－Ｄ－ｉｘ、ＩＩＩ－Ｄ－ｘｉｉ、またはＩＩＩ－Ｄ－ｘｉｖ：

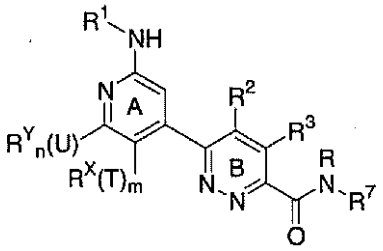
【化１９－１】



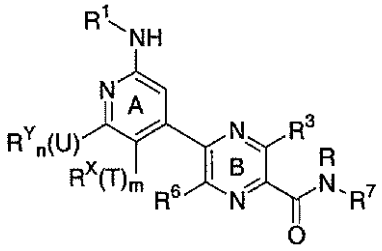
III-D-i



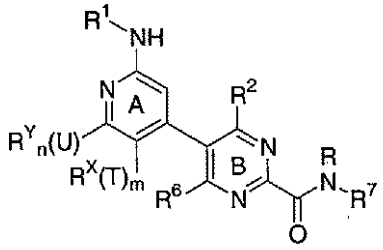
III-D-ii



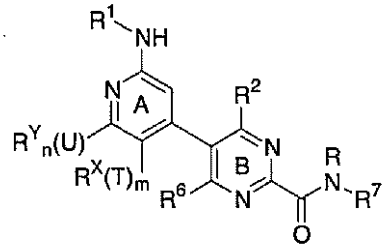
III-D-iii



III-D-iv

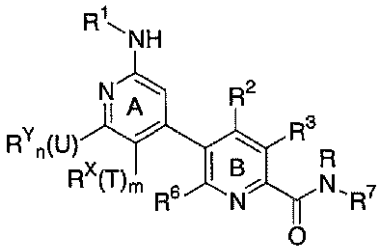


III-D-vi

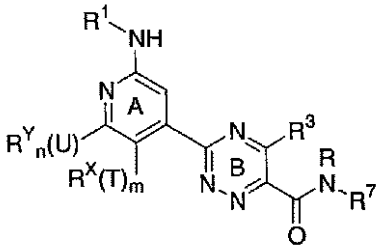


III-D-viii

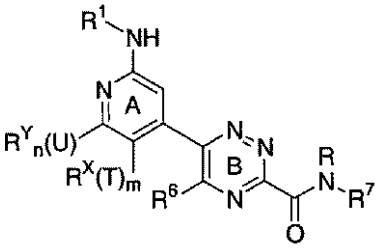
【化１９－２】



III-D-ix



III-D-xii



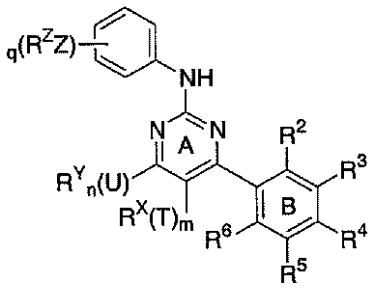
III-D-xiv

のうちの１個を有する、化合物。

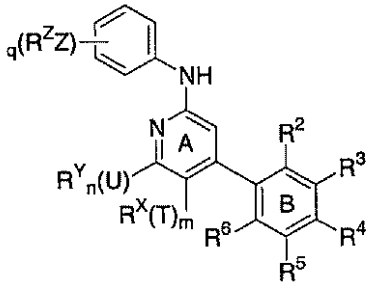
【請求項４０】

Ｒ[1]が、必要に応じて置換されたフェニルであり、そして環Ｂが、必要に応じて置換されたフェニル基であり、そして化合物が、以下の一般式ＩＶまたはＶ：

【化２０】



IV



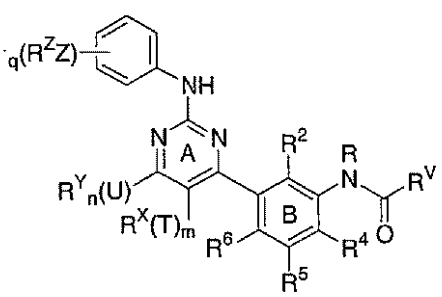
V

を有する、請求項１に記載の化合物。

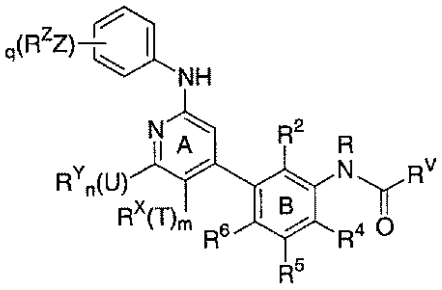
【請求項４１】

請求項４０に記載の化合物であって、ここで、Ｒ[3]　が、ＮＲＣＯＲ[7]であり、化合物が、以下の一般式ＩＶ－Ａ－（ｉ）またはＶ－Ａ－（ｉ）：

【化２１】



IV-A-(i)



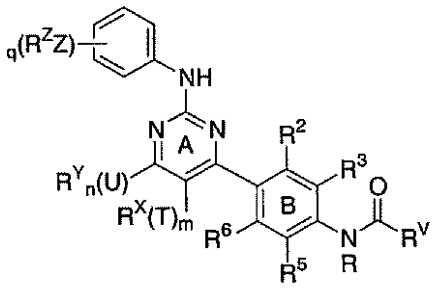
V-A-(i)

を有する、化合物。

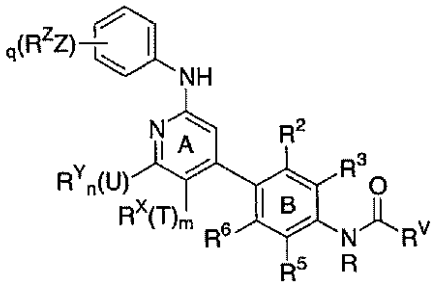
【請求項４２】

請求項４０に記載の化合物であって、ここで、R^4が、$NRCOR^7$であり、化合物が、以下の一般式ＩＶ－Ｂ－（ｉ）またはＶ－Ｂ－（ｉ）：

【化２２】



IV-B-(i)



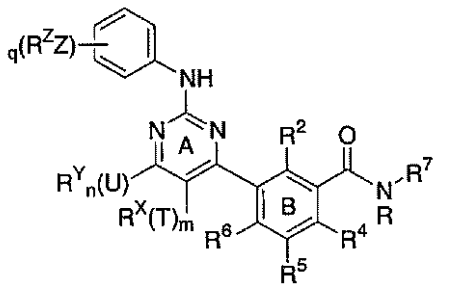
V-B-(i)

を有する、化合物。

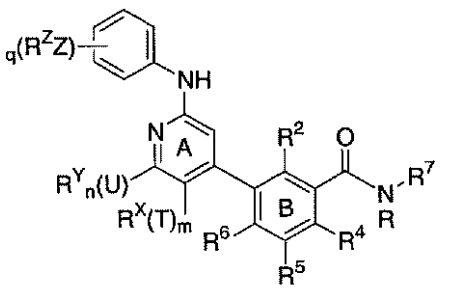
【請求項４３】

請求項４０に記載の化合物であって、ここで、R^3が、$CONRR^7$であり、化合物は、以下の一般式ＩＶ－Ｃ－（ｉ）またはＶ－Ｃ－（ｉ）：

【化２３】



IV-C-(i)



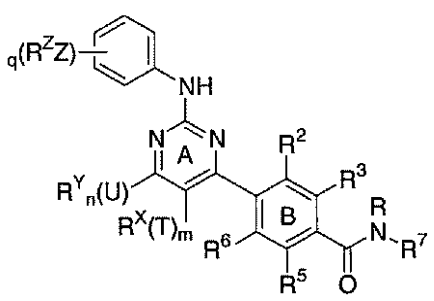
V-C-(i)

を有する、化合物。

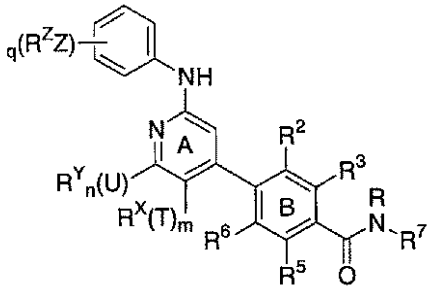
【請求項４４】

請求項４０に記載の化合物であって、ここで、R^4が、$CONRR^7$であり、化合物が、以下の一般式ＩＶ－Ｄ－（ｉ）またはＶＩＩ－Ｄ－（ｉ）：

【化２４】



IV-D-(i)



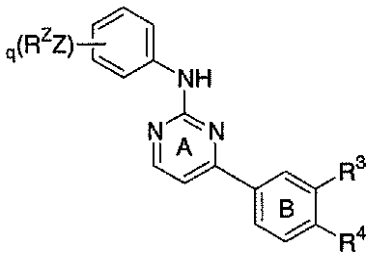
V-D-(i)

を有する、化合物。

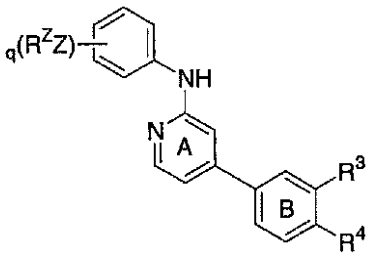
【請求項４５】

請求項４０に記載の化合物であって、ここで、R^1は、必要に応じて置換されたフェニルであり、環Ａは、ピリミジニルもしくはピリジルであり、環Ｂは、フェニルであり、そしてR^2、R^5、およびR^6は、それぞれ水素であり、そして化合物は、以下の一般式ＶＩおよびＶＩＩ：

【化２５】



VI



VII

を有する、化合物。

【請求項４６】

請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、

ａ．ｑは、０または１であり、そしてZR^Zは、－NH_2、－ＯＨ、$C_{1\sim4}$アルコキシまたは－SO_2NH_2である；

ｂ．R^3は、$NRCOR^7$であり、ここで、R^7は、$(CH_2)_t$－Ｙ－R^8であり、そしてｔは、０であり、Ｙは、結合であり、そしてR^8は、フェニル（ａ）であるか、または必要に応じて置換したヘテロアリール部分であり、該ヘテロアリール部分は、基ｂ～ｒの１つから選択され、そしてｒは、０もしくは１であり、WR^W置換基は、ハロゲン、$C_{1\sim4}$アルキル、－$(R)_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－$SO_2N(R)_2$、－Ｎ（Ｒ）SO_2R、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－$N(R)_2$、－CH_2OR、－$CH_2N(R)_2$、もしくは－CH_2SRである；そして

ｃ．R^4は、水素である、化合物。

【請求項４７】

請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、

ａ．ｑは、０または１であり、そしてZR^Zは、－NH_2、－ＯＨ、$C_{1\sim4}$アルコキシまたは－SO_2NH_2である；

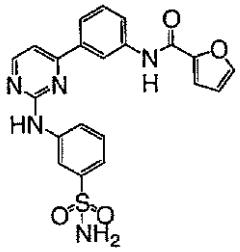
ｂ．R^3は、$CONRR^7$であり、ここで、R^7は、$(CH_2)_t$－Ｙ－R^8であり、そしてｔは、０であり、Ｙは、結合であり、そしてR^8は、フェニル（ａ）であるか、または必要に応じて置換したヘテロアリール部分であり、該ヘテロアリール部分は、基ｂ～ｒの１つから選択され、そしてｒは、０もしくは１であり、WR^W置換基は、ハロゲン、$C_{1\sim4}$アルキル、－$(R)_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－$SO_2N(R)_2$、－Ｎ（Ｒ）SO

$_2$Ｒ、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－Ｎ（Ｒ）$_2$、－ＣＨ$_2$ＯＲ、－ＣＨ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、もしくは－ＣＨ$_2$ＳＲである；そして
ｃ．Ｒ^{4}は、水素である、化合物。
【請求項４８】
請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、
ａ．ｑは、０または１であり、そしてＺＲ^{Z}は、－ＮＨ$_2$、－ＯＨ、Ｃ$_{1～4}$アルコキシまたは－ＳＯ$_2$ＮＨ$_2$である；
ｂ．Ｒ^{4}は、ＮＲＣＯＲ^{7}であり、ここで、Ｒ^{7}は、（ＣＨ$_2$）$_t$－Ｙ－Ｒ^{8}であり、そしてｔは、０であり、Ｙは、結合であり、そしてＲ^{8}は、フェニル（ａ）であるか、または必要に応じて置換したヘテロアリール部分であり、該ヘテロアリール部分は、基ｂ～ｚの１つから選択され、そしてｒは、０もしくは１であり、ＷＲ^{W}置換基は、ハロゲン、Ｃ$_{1～4}$アルキル、－（Ｒ）$_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、－Ｎ（Ｒ）ＳＯ$_2$Ｒ、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－Ｎ（Ｒ）$_2$、－ＣＨ$_2$ＯＲ、－ＣＨ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、もしくは－ＣＨ$_2$ＳＲである；そして
ｃ．Ｒ^{3}は、水素である、化合物。
【請求項４９】
請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、
ａ．ｑは、０または１であり、そしてＺＲ^{Z}は、－ＮＨ$_2$、－ＯＨ、Ｃ$_{1～4}$アルコキシまたは－ＳＯ$_2$ＮＨ$_2$である；
ｂ．Ｒ^{4}は、ＣＯＮＲＲ^{7}であり、ここで、Ｒ^{7}は、（ＣＨ$_2$）$_t$－Ｙ－Ｒ^{8}であり、そしてｔは、０であり、Ｙは、結合であり、そしてＲ^{8}は、フェニル（ａ）であるか、必要に応じて置換されたヘテロアリール部分であり、該ヘテロアリール部分は、基ｂ～ｚのうちの１個から選択され、ここで、ｒは、０または１であり、そしてＷＲ^{W}置換基は、ハロゲン、Ｃ$_{1～4}$アルキル、－（Ｒ）$_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、－Ｎ（Ｒ）ＳＯ$_2$Ｒ、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－Ｎ（Ｒ）$_2$、－ＣＨ$_2$ＯＲ、－ＣＨ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、もしくは－ＣＨ$_2$ＳＲである；そして
Ｃ．Ｒ^{3}は、水素である、化合物。
【請求項５０】
請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、
ａ．ｑは、０または１であり、そしてＺＲ^{Z}は、－ＮＨ$_2$、－ＯＨ、Ｃ$_{1～4}$アルコキシまたは－Ｓ（Ｏ）$_2$ＮＨ$_2$である；
ｂ．Ｒ^{3}は、ＮＲＣＯＲ^{7}であり、ここで、Ｒ^{7}は、（ＣＨ$_2$）$_t$－Ｙ－Ｒ^{8}であり、そしてｔは、０もしくは１であり、Ｙは、ＮＲ^{9}であり、そしてＲ^{8}およびＲ^{9}は、窒素原子と一緒になって、ｓ、ｔ、ｕ、もしくはｖから選択される基を形成し、そしてｒは、０もしくは１であり、そしてＷＲ^{W}置換基は、ハロゲン、Ｃ$_{1～4}$アルキル、－（Ｒ）$_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、－Ｎ（Ｒ）ＳＯ$_2$Ｒ、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－Ｎ（Ｒ）$_2$、－ＣＨ$_2$ＯＲ、－ＣＨ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、または－ＣＨ$_2$ＳＲである；そして
ｃ．Ｒ^{4}は、水素である、化合物。
【請求項５１】
請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、
ａ．ｑは、０または１であり、そしてＺＲ^{Z}は、－ＮＨ$_2$、－ＯＨ、Ｃ$_{1～4}$アルコキシまたは－Ｓ（Ｏ）$_2$ＮＨ$_2$である；
ｂ．Ｒ^{3}は、ＣＯＮＲＲ^{7}であり、ここで、Ｒ^{7}は、（ＣＨ$_2$）$_t$－Ｙ－Ｒ^{8}であり、そしてｔは、０もしくは１であり、Ｙは、ＮＲ^{9}であり、そしてＲ^{8}およびＲ^{9}は、窒素原子と一緒になって、ｓ、ｔ、ｕ、もしくはｖから選択される基を形成し、そしてｒは、０もしくは１であり、そしてＷＲ^{W}置換基は、ハロゲン、Ｃ$_{1～4}$アルキル、－（Ｒ）$_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、－Ｎ（Ｒ）ＳＯ$_2$Ｒ、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－Ｎ（Ｒ）$_2$、－ＣＨ$_2$ＯＲ、－ＣＨ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、または－ＣＨ$_2$ＳＲである；そして
ｃ．Ｒ^{4}は、水素である、化合物。
【請求項５２】

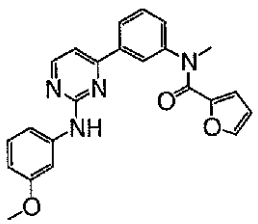
請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、
ａ．ｑは、０または１であり、そしてＺＲ^{Z}は、－ＮＨ$_2$、－ＯＨ、Ｃ$_{1\sim4}$アルコキシまたは－Ｓ（Ｏ）$_2$ＮＨ$_2$である；
ｂ．Ｒ^{4}は、ＮＲＣＯＲ^{7}であり、ここで、Ｒ^{7}は、（ＣＨ$_2$）$_t$－Ｙ－Ｒ^{8}であり、そしてｔは、０もしくは１であり、Ｙは、ＮＲ^{9}であり、そしてＲ^{8}およびＲ^{9}は、窒素原子と一緒になって、ｓ、ｔ、ｕ、もしくはｖから選択される基を形成し、そしてｒは、０もしくは１であり、そしてＷＲ^{W}置換基は、ハロゲン、Ｃ$_{1\sim4}$アルキル、ＮＨ$_2$、ＯＨ、ＳＨ、ＳＯ$_2$ＮＨ$_2$、Ｃ$_{1\sim4}$アルコキシ、Ｃ$_{1\sim4}$チオアルキル、ＣＨ$_2$ＯＲ、－ＣＨ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、またはＣＨ$_2$ＳＲである；そして
ｃ．Ｒ^{3}は、水素である、化合物。

【請求項５３】
請求項４０または４５に記載の化合物であって、ここで、
ａ．ｑは、０または１であり、そしてＺＲ^{Z}は、－ＮＨ$_2$、－ＯＨ、Ｃ$_{1\sim4}$アルコキシまたは－Ｓ（Ｏ）$_2$ＮＨ$_2$である；
ｂ．Ｒ^{4}は、ＣＯＮＲＲ^{7}であり、ここで、Ｒ^{7}は、（ＣＨ$_2$）$_t$－Ｙ－Ｒ^{8}であり、そしてｔは、０もしくは１であり、Ｙは、ＮＲ^{9}であり、そしてＲ^{8}およびＲ^{9}は、窒素原子と一緒になって、ｓ、ｔ、ｕ、もしくはｖから選択される基を形成し、そしてｒは、０もしくは１であり、そしてＷＲ^{W}置換基は、ハロゲン、Ｃ$_{1\sim4}$アルキル、－（Ｒ）$_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、－Ｎ（Ｒ）ＳＯ$_2$Ｒ、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－Ｎ（Ｒ）$_2$、－ＣＨ$_2$ＯＲ、－ＣＨ$_2$Ｎ（Ｒ）$_2$、または－ＣＨ$_2$ＳＲである；そして
ｃ．Ｒ^{3}は、水素である、化合物。

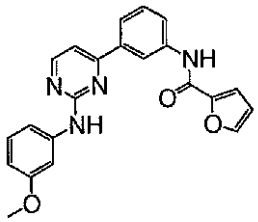
【請求項５４】
以下の構造：
【化２６－１】



IV-A(i)-1

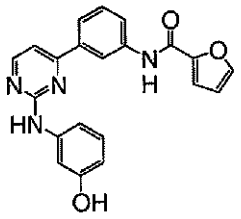


IV-A(i)-2

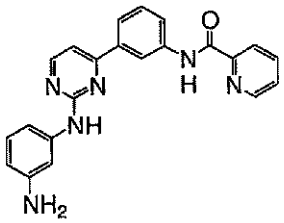


IV-A(i)-3

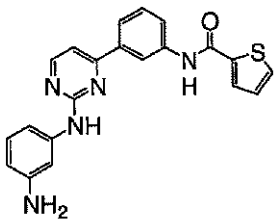
【化２６－２】



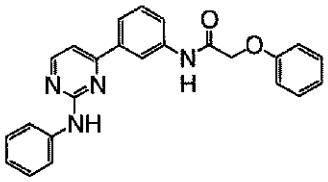
IV-A(i)-4



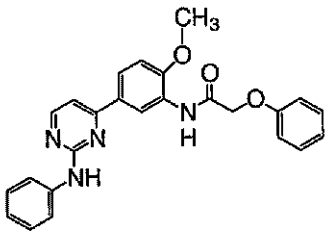
IV-A(i)-5



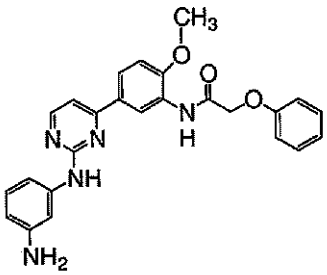
IV-A(i)-6



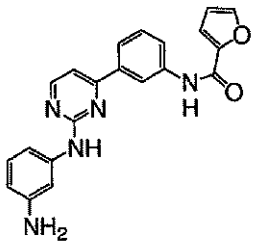
IV-A(i)-7



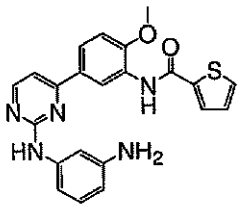
IV-A(i)-8



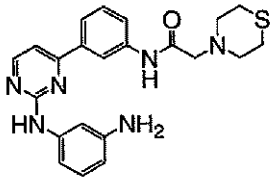
IV-A(i)-9



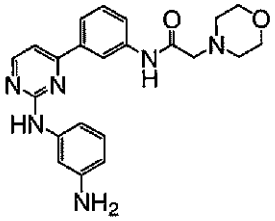
IV-A(i)-10



IV-A(i)-11

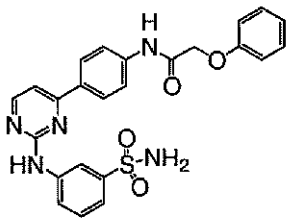


IV-A(i)-12

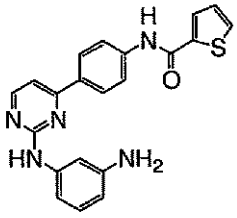


IV-A(i)-13

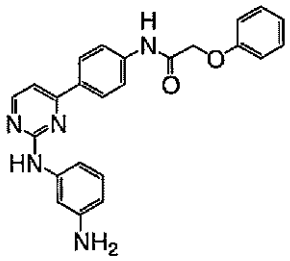
【化２６－３】



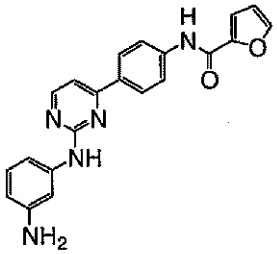
IV-B(i)-1



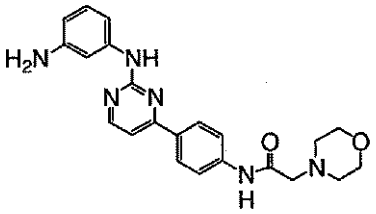
IV-B(i)-2



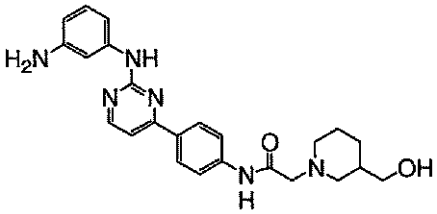
IV-B(i)-3



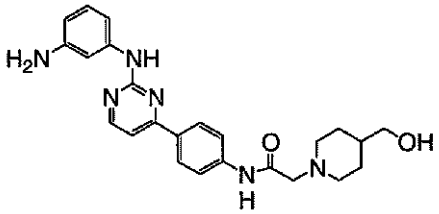
IV-B(i)-4



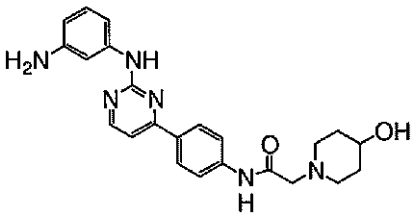
IV-B(i)-5



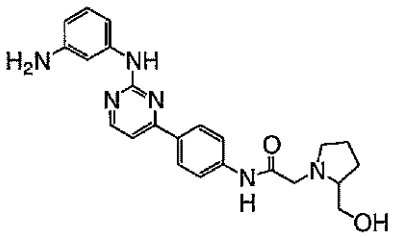
IV-B(i)-6



IV-B(i)-7

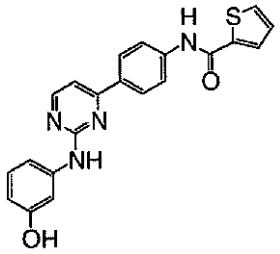


IV-B(i)-8

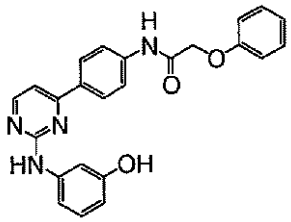


IV-B(i)-9

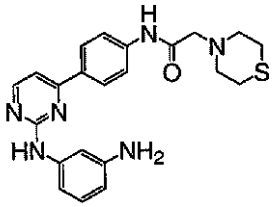
【化２６－４】



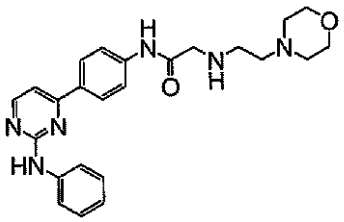
IV-B(i)-10



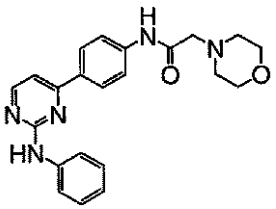
IV-B(i)-11



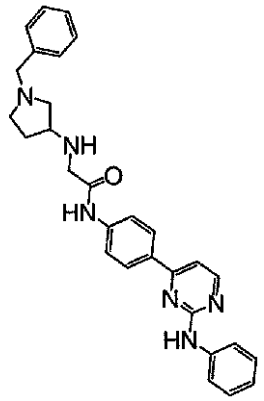
IV-B(i)-12



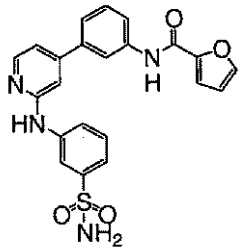
IV-B(i)-13



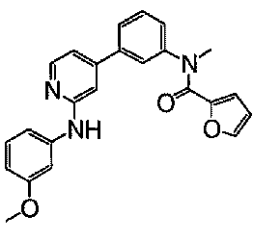
IV-B(i)-14



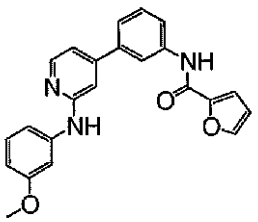
IV-B(i)-15



V-A(i)-1

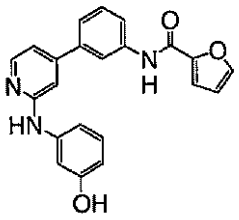


V-A(i)-2

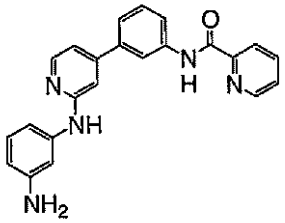


V-A(i)-3

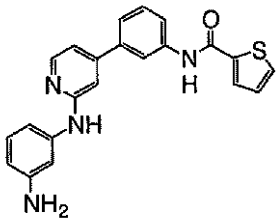
【化２６－５】



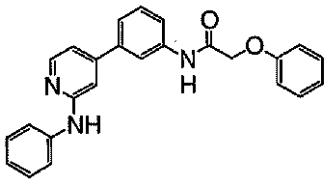
V-A(i)-4



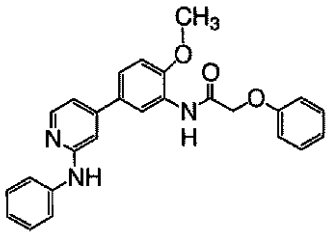
V-A(i)-5



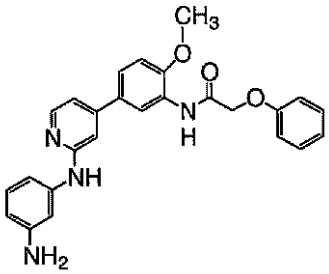
V-A(i)-6



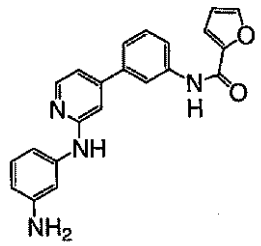
V-A(i)-7



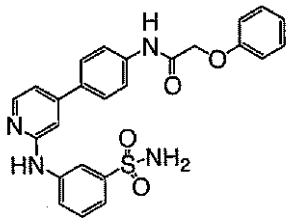
V-A(i)-8



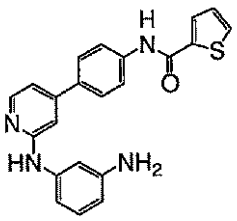
V-A(i)-9



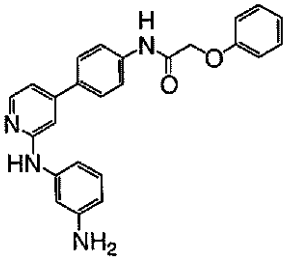
V-A(i)-10



V-B(i)-1

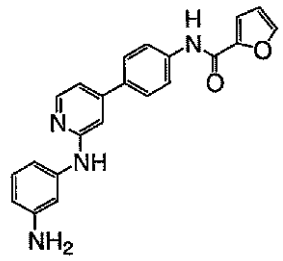


V-B(i)-2

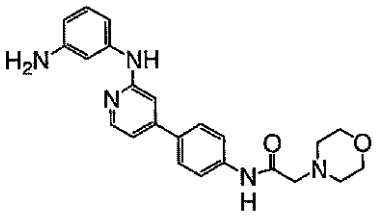


V-B(i)-3

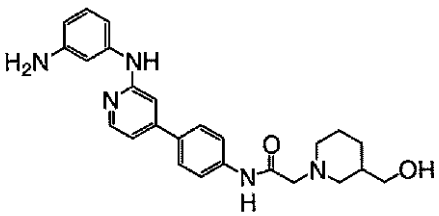
【化２６－６】



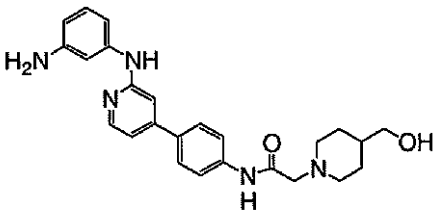
V-B(i)-4



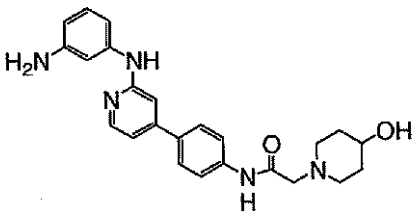
V-B(i)-5



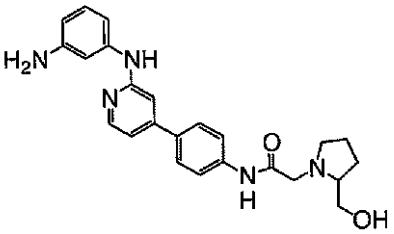
V-B(i)-6



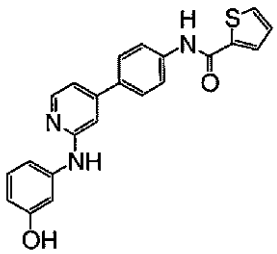
V-B(i)-7



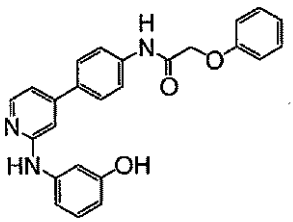
V-B(i)-8



V-B(i)-9

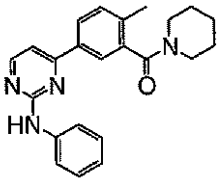


V-B(i)-10

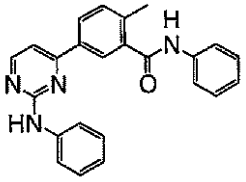


V-B(i)-11

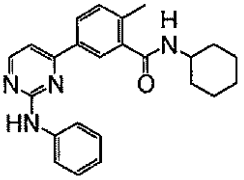
【化２６－７】



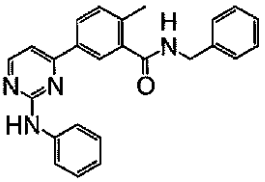
IV-C(i)-1



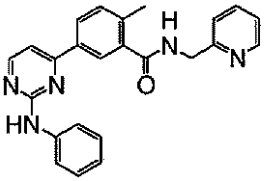
IV-C(i)-2



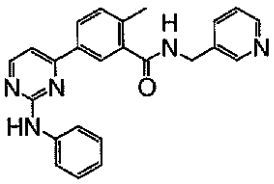
IV-C(i)-3



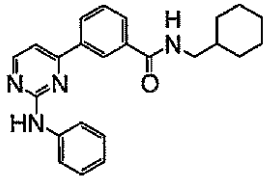
IV-C(i)-4



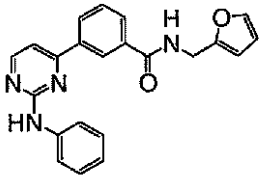
IV-C(i)-5



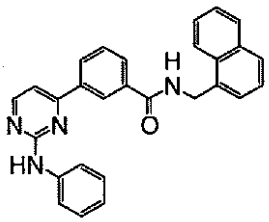
IV-C(i)-6



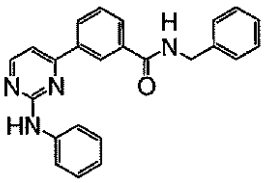
IV-C(i)-7



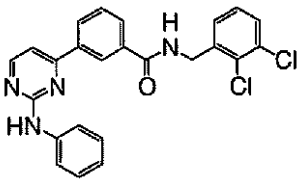
IV-C(i)-8



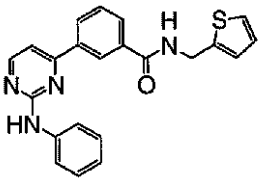
IV-C(i)-9



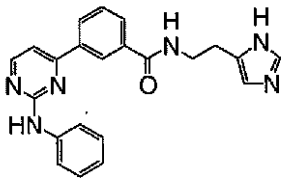
IV-C(i)-10



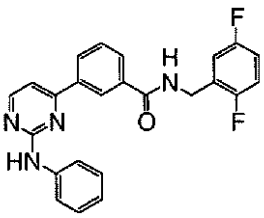
IV-C(i)-11



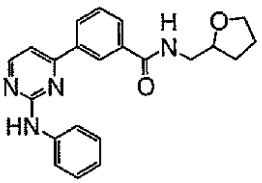
IV-C(i)-12



IV-C(i)-13

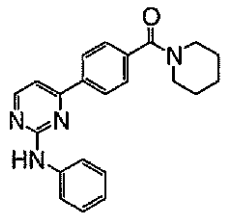


IV-C(i)-14

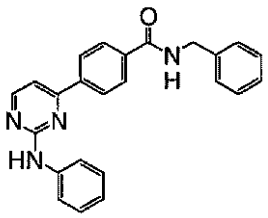


IV-C(i)-15

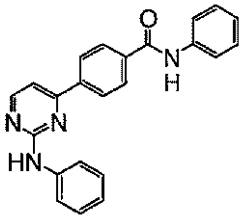
【化２６－８】



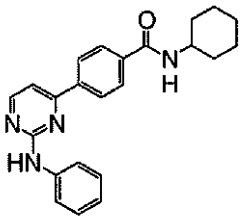
IV-D(i)-1



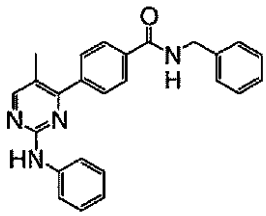
IV-D(i)-2



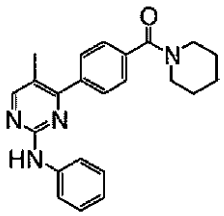
IV-D(i)-3



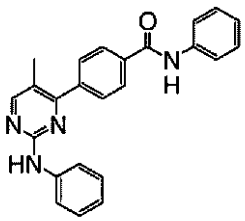
IV-D(i)-4



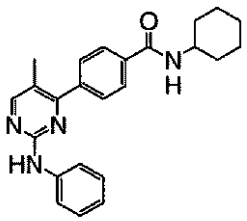
IV-D(i)-5



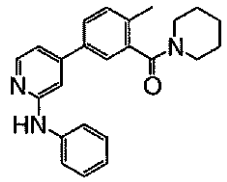
IV-D(i)-6



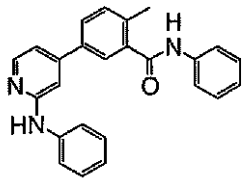
IV-D(i)-7



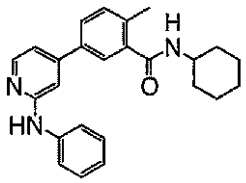
IV-D(i)-8



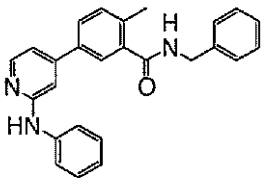
V-C(i)-1

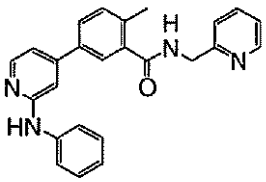


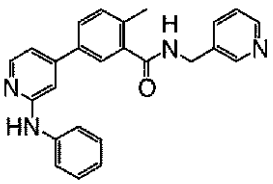
V-C(i)-2



V-C(i)-3

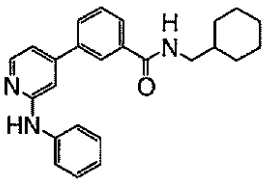




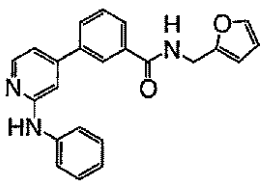


【化２６－９】

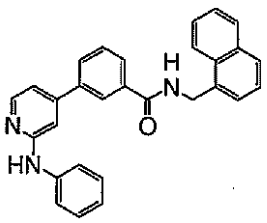
V-C(i)-4



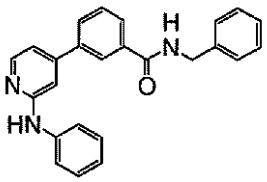
V-C(i)-5



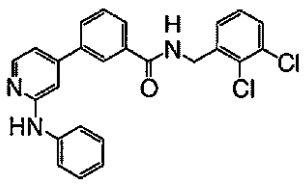
V-C(i)-6



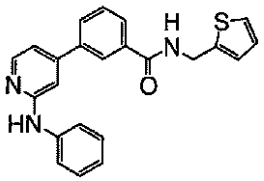
V-C(i)-7



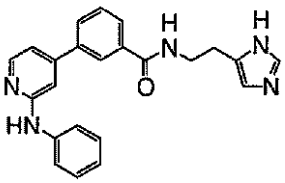
V-C(i)-8



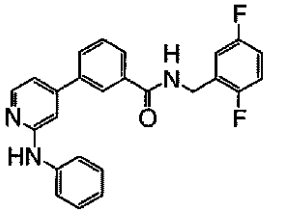
V-C(i)-9



V-C(i)-10



V-C(i)-11

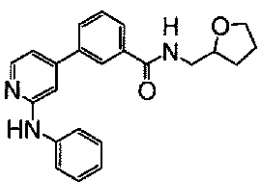


V-C(i)-12

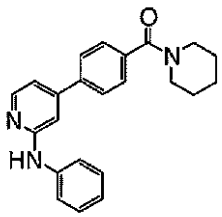
V-C(i)-13

V-C(i)-14

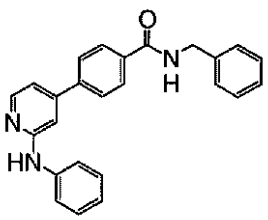
V-C(i)-15



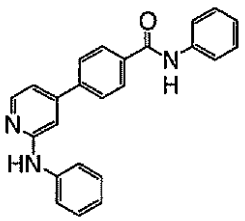
V-D(i)-1



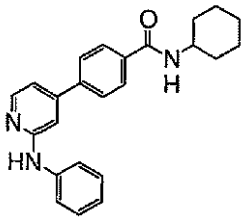
V-D(i)-2



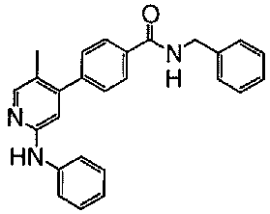
V-D(i)-3



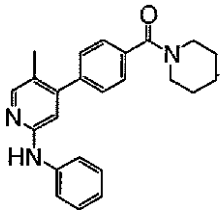
【化２６－１０】



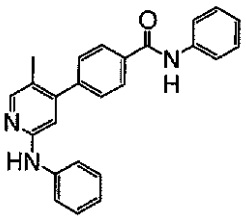
V-D(i)-4



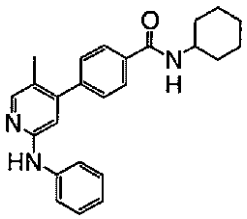
V-D(i)-5



V-D(i)-6



V-D(i)-7



V-D(i)-8

のうちの１個を有する、請求項１に記載の化合物。

【請求項５５】

請求項１に記載の化合物と、薬学的に受容可能な担体、アジュバントまたはビヒクルとを含有する、薬学的組成物。

【請求項５６】

さらに、追加治療薬を含有し、該追加治療薬が、化学療法薬または抗増殖薬、アルツハイマー病治療薬、パーキンソン病治療薬、多発性硬化症（ＭＳ）治療薬、喘息治療薬、精神分裂病治療薬、抗炎症薬、免疫調節薬または免疫抑制薬、神経栄養性因子、循環器病治療薬、破壊的骨障害治療薬、肝疾患治療薬、血液疾患治療薬、または免疫不全障害治療薬から選択される、請求項５５に記載の組成物。

【請求項５７】

生物学的サンプルにおけるＪＡＫキナーゼ活性を阻害する方法であって、該方法は、該生物学的サンプルと、以下：

ａ）請求項５５に記載の組成物；または

ｂ）請求項１に記載の化合物

とを接触させる工程、

を包含する、方法。

【請求項５８】

免疫応答、自己免疫疾患、神経変性障害、または固形もしくは血液悪性腫瘍から選択される疾患または障害を処置するかその重症度を軽くするための組成物であって、請求項１に記載の化合物または請求項５５に記載の組成物を含み、ここで該組成物は、それが必要な患者への投与に適している、組成物。

【請求項５９】

前記疾患が、アレルギー性またはＩ型過感受性反応、喘息、移植片拒絶、移植片対宿主病、慢性関節リウマチ、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、家族性筋萎縮性側索硬化症（ＦＡＬＳ）、白血病またはリンパ腫から選択される、請求項５８に記載の組成物。

【請求項６０】

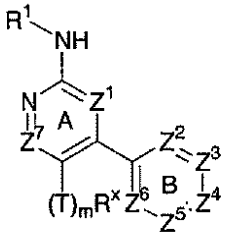
患者におけるＪＡＫキナーゼ活性を阻害するための組成物であって、、以下：

ａ）請求項５５に記載の組成物；または

ｂ）請求項１に記載の化合物

を含む、組成物。

【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４０】
【化２８】



I

ここで：

R^1は、Ｑ－Ａｒ^{1}である、

Ｑは、Ｃｌ$_{1\sim2}$アルキリデン鎖であり、ここで、Ｑの１個のメチレン単位は、必要に応じて、Ｏ、ＮＲ、ＮＲＣＯ、ＮＲＣＯＮＲ、ＮＲＣＯ$_2$、ＣＯ、ＣＯ$_2$、ＣＯＮＲ、ＯＣ（Ｏ）ＮＲ、ＳＯ$_2$、ＳＯ$_2$ＮＲ、ＮＲＳＯ$_2$、ＮＲＳＯ$_2$ＮＲ、Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）またはＣ（Ｏ）ＣＨ$_2$Ｃ（Ｏ）で置き換えられる；

Ａｒ^{1}は、５～７員の飽和、部分的不飽和、もしくは完全不飽和の単環または８～１２員の飽和、部分不飽和、もしくは完全不飽和の二環式環系であり、この単環は、０～３個のヘテロ原子を有し、この原子は、別個に、窒素、酸素、もしくは硫黄から選択され、そしてこの二環式環系は、０～５個のヘテロ原子を有し、この原子は、別個に、窒素、酸素、または硫黄から選択される；ここで、Ａｒ^{1}は、必要に応じて、ｑ個のＺＲ^{Z}の独立した出現例で置換される；ここで、ｑは０～５であり、Ｚは、結合またはＣ$_1$～Ｃ$_6$アルキリデン鎖であり、Ｚの２個までの隣接していないメチレン単位は、必要に応じて、別個に、ＣＯ、ＣＯ$_2$、ＣＯＣＯ、ＣＯＮＲ、ＯＣＯＮＲ、ＮＲＮＲ、ＮＲＮＲＣＯ、ＮＲＣＯ、ＮＲＣＯ$_2$、ＮＲＣＯＮＲ、ＳＯ、ＳＯ$_2$、ＮＲＳＯ$_2$、ＳＯ$_2$ＮＲ、ＮＲＳＯ$_2$ＮＲ、Ｏ、Ｓ、もしくはＮＲで置換され；そしてＲ^{Z}の各出現は、別個に、Ｒ’、ハロゲン、ＮＯ$_2$、ＣＮ、ＯＲ’、ＳＲ’、Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’ＣＯＲ’、ＮＲ’ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’ＣＯ$_2$Ｒ’、ＣＯＲ’、ＣＯ$_2$Ｒ’、ＯＣＯＲ’、ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＯＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＳＯＲ’、ＳＯ$_2$Ｒ’、ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’ＳＯ$_2$Ｒ’、ＮＲ’ＳＯ$_2$Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＣＯＣＯＲ’、もしくはＣＯＣＨ$_2$ＣＯＲ’から選択される；

Ｒの各出現例は、別個に、水素または必要に応じて置換したＣ$_{1\sim6}$脂肪族基であり；そしてＲ’の各出現は、水素または必要に応じて置換したＣ$_{1\sim6}$脂肪族基、３～８員の飽和、部分不飽和、もしくは完全不飽和の単環または８～１２員の飽和、部分不飽和、完全不飽和の二環式環系であり、この単環は、０～３個のヘテロ原子を有し、このヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され、そしてこの二環式環系は、０～５個のヘテロ原子を有し、この原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され；あるいは、ＲおよびＲ’、Ｒの２個の出現例、またはＲ’の２個の出現例は、それらが結合する原子と一緒になって、必要に応じて置換した３～１２員環の飽和、部分不飽和、完全不飽和の単環もしくは二環を形成し、この単環または二環は、０～４個のヘテロ原子を有し、この原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択される；

Z^1は、ＮまたはＣＨである；

Z^7は、ＮまたはＣ（Ｕ）$_n$Ｒ^{Y}である；

ＴおよびＵは、それぞれ別個に、結合または飽和もしくは不飽和のC_{1-6}アルキリデン鎖であり、ここで、この鎖の２個までのメチレン単位は、必要に応じて、別個に、ＣＯ、CO_2、ＣＯＣＯ、ＣＯＮＲ、ＯＣＯＮＲ、ＮＲＮＲ、ＮＲＮＲＣＯ、ＮＲＣＯ、ＮＲCO_2、ＮＲＣＯＮＲ、ＳＯ、SO_2、$NRSO_2$、SO_2ＮＲ、$NRSO_2$ＮＲ、Ｏ、Ｓ、もしくはＮＲで置き換えられる；

ｍおよびｎは、それぞれ別個に、０または１である；

R^XおよびR^Yは、それぞれ別個に、ＲまたはＡｒ^{1}から選択される；

Z^2は、ＮまたはＣＲ^{2}であり；Z^3は、ＮまたはＣＲ^{3}であり；Z^4は、ＮまたはＣＲ^{4}であり；Z^5は、ＮまたはＣＲ^{5}であり；そしてZ^6は、ＮまたはＣＲ^{6}であり、ここで各R^2、R^3、R^4、R^5もしくはR^6の出現は、別個に、R^uまたは$(V)_pR^V$であり、ただし、ａ）Z^2、Z^3、Z^4、Z^5もしくはZ^6の３個以下はＮであり、かつｂ）Z^3、Z^4もしくはZ^5の少なくとも１個は、それぞれＣＲ^3、ＣＲ^4、もしくはＣＲ^{5}であり、そしてR^3、R^4、またはR^5の少なくとも１個は、R^Uである、

R^uの各出現例は、ＮＲＣＯＲ^7、ＣＯＮＲ（Ｒ^7）、SO_2ＮＲ（Ｒ^7）、$NRSO_2R^7$、ＮＲＣＯＮＲ（Ｒ^7）、$NRSO_2$ＮＲ（Ｒ^7）、もしくはＣＯＮＲＮＲ（Ｒ^7）であり、ここで、Ｒ^{7}は、$(CH_2)_t$－Ｙ－Ｒ^{8}であり、そしてｔは、０、１、もしくは２であり、Ｙは、結合またはＯ、Ｓ、ＮＲ^9、－OCH_2－、－SCH_2、－NR^9CH_2、Ｏ$(CH_2)_2$－、－Ｓ$(CH_2)_2$－、または－ＮＲ^9$(CH_2)_2$であり、そしてＲ^{8}は、Ａｒ^{2}であるか、またはＲ^{8}およびＲ^{9}は、窒素原子と一緒になって、必要に応じて置換した５～８員のヘテロシクリルもしくはヘテロアリール環を形成し、この環は、１～３個のヘテロ原子を有し、このヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択される；

Ｖの各出現例は、結合または飽和もしくは不飽和の$C_{1\sim6}$アルキリデン鎖であり、この鎖の２個までのメチレン単位は、必要に応じて、別個に、ＣＯ、CO_2、ＣＯＣＯ、ＣＯＮＲ、ＯＣＯＮＲ、ＮＲＮＲ、ＮＲＮＲＣＯ、ＮＲＣＯ、ＮＲCO_2、ＮＲＣＯＮＲ、ＳＯ、SO_2、$NRSO_2$、SO_2ＮＲ、$NRSO_2$ＮＲ、Ｏ、Ｓ、もしくはＮＲで置き換えられる；

ｐの各出現例は、０または１である；

R^Vの各出現例は、ＲまたはＡｒ^{2}である；そして

Ａｒ^{2}は、５～７員の飽和、部分不飽和もしくは完全不飽和の単環または８～１２員の飽和、部分不飽和もしくは完全不飽和の二環式環系であり、この単環は、０～３個のヘテロ原子を有し、このヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され、そしてこの二環式環系は、０～５個のヘテロ原子を有し、このヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素もしくは硫黄から選択され；ここで、Ａｒ^{2}は、Ｗ－Ｒ^{W}のｒ個の別個の出現例で、必要に応じて置換され；ここで、ｒは、０～３であり、Ｗは、結合またはC_1～C_6アルキリデン鎖であり、Ｗの２個までの隣接していないメチレン単位は、必要に応じて、ＣＯ、CO_2、ＣＯＣＯ、ＣＯＮＲ、ＯＣＯＮＲ、ＮＲＮＲ、ＮＲＮＲＣＯ、ＮＲＣＯ、ＮＲCO_2、ＮＲＣＯＮＲ、ＳＯ、SO_2、$NRSO_2$、SO_2ＮＲ、$NRSO_2$ＮＲ、Ｏ、Ｓ、もしくはＮＲで置き換えられる；そしてR^Wの各出現例は、別個に、Ｒ’、水素、NO_2、ＣＮ、ＯＲ’、ＳＲ’、Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’ＣＯＲ’、ＮＲ’ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’CO_2Ｒ’、ＣＯＲ’、CO_2Ｒ’、ＯＣＯＲ’、ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＯＣＯＮ（Ｒ’）$_2$、ＳＯＲ’、SO_2Ｒ’、SO_2Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＮＲ’SO_2Ｒ’、ＮＲ’SO_2Ｎ（Ｒ’）$_2$、ＣＯＣＯＲ’、もしくは$COCH_2$ＣＯＲ’から選択される；

ただし、以下：

ａ）Z^1がＮであり、Z^7が、ＣＨであり；かつ環Ｂが、フェニルであり、そしてR^3もしくはR^4の少なくとも１個が、ＮＨＣＯＲ^{7}である場合、Ｒ^{1}は、ＯＲ’の２または３個の出現例のみ置換したフェニルではない；そして

ｂ）Z^1がＮであり、Z^7が、ＣＨであり；かつ環Ｂが、フェニルであり、そしてR^3もしくはR^4の少なくとも１個が、ＮＨＣＯＲ^7、SO_2R^7、ＣＯＮＲＲ^{7}である場合、Ｒ^{1}は、パラ位置における－ＣＯＮ（Ｒ’）$_2$の出現例でのみ置換されるフェニルでは

ない。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５３】
本明細書中で使用する「ヘテロサイクル」、「ヘテロシクリル」、「ヘテロ環状脂肪族」または「複素環」との用語は、１個またはそれ以上の環メンバーが別個に選択したヘテロ原子である非芳香族の単環式、二環式または三環式の環系を意味する。ある実施態様では、この「ヘテロサイクル」基、「ヘテロシクリル」基、「ヘテロ環状脂肪族」基または「複素環」基は、３個～１４個の環メンバーを有し、ここで、１個またはそれ以上の環メンバーは、酸素、イオウ、窒素またはリンから別個に選択されるヘテロ原子であり、そして該系内の各環は、３個～７個の環メンバーを含有する。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６０】
アリール（アラルキル、アラルコキシ、アリールオキシアルキルなどを含めて）基またはヘテロアリール（ヘテロアラルキルおよびヘテロアリールアルコキシなどを含めて）基は、１個またはそれ以上の置換基を含有し得、それゆえ、「必要に応じて置換され」得る。上でまたは本明細書中で定義していなければ、アリール基またはヘテロアリール基の不飽和炭素原子上の適当な置換基は、一般に、以下から選択される：ハロゲン；－R^0；－OR^0；－SR^0；必要に応じてR^0で置換したフェニル（Ｐｈ）；必要に応じてR^0で置換した－Ｏ（Ｐｈ）；必要に応じてR^0で置換した－（CH_2）$_{1～2}$（Ｐｈ）；必要に応じてR^0で置換した－ＣＨ＝ＣＨ（Ｐｈ）；－NO_2；－ＣＮ；－Ｎ（R^0）$_2$；－$NR^0C(O)R^0$；－$NR^0C(S)R^0$；－$NR^0C(O)N(R^0)_2$；－$NR^0C(S)N(R^0)_2$；－$NR^0CO_2R^0$；－$NR^0NR^0C(O)R^0$；－$NR^0NR^0C(O)N(R^0)_2$；－$NR^0NR^0CO_2R^0$；－Ｃ（Ｏ）Ｃ（Ｏ）R^0；－Ｃ（Ｏ）CH_2Ｃ（Ｏ）R^0；－CO_2R^0；－Ｃ（Ｏ）R^0；－Ｃ（Ｓ）R^0；－Ｃ（Ｏ）Ｎ（R^0）$_2$；－Ｃ（Ｓ）Ｎ（R^0）$_2$；－ＯＣ（Ｏ）Ｎ（R^0）$_2$；－ＯＣ（Ｏ）R^0；－Ｃ（Ｏ）Ｎ（OR^0）R^0；－Ｃ（ＮＯR^0）R^0；－Ｓ（Ｏ）$_2R^0$；－Ｓ（Ｏ）$_3R^0$；－SO_2Ｎ（R^0）２；－Ｓ（Ｏ）R^0；－$NR^0SO_2N(R^0)_2$；－$NR^0SO_2R^0$；－Ｎ（OR^0）R^0；－Ｃ（＝ＮＨ）－Ｎ（R^0）$_2$；－Ｐ（Ｏ）$_2R^0$；－ＰＯ（R^0）$_2$；－ＯＰＯ（R^0）$_2$；－（CH_2）$_{0～2}$ＮＨＣ（Ｏ）R^0；必要に応じてR^0で置換したフェニル（Ｐｈ）；必要に応じてR^0で置換したフェニル－Ｏ（Ｐｈ）；必要に応じてR^0で置換した－（CH_2）$_{1～2}$（Ｐｈ）；または必要に応じてR^0で置換した－ＣＨ＝ＣＨ（Ｐｈ）；ここで、R^0の各出現例は、水素、必要に応じて置換した$C_{1～6}$、非置換５員～６員ヘテロアリールまたは複素環、フェニル、－Ｏ（Ｐｈ）または－CH_2（Ｐｈ）、または上記定義にもかかわらず、R^0の２個の別個の出現例は、同じ置換基または異なる置換基上にて、各R^0基が結合する原子と一緒になって、必要に応じて置換した３員～１２員の飽和、部分不飽和または完全不飽和の単環式または二環式の環を形成し、この環は、０個～４個のヘテロ原子を有し、このヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素またはイオウから選択される。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６３
【訂正方法】変更

【訂正の内容】
【００６３】
上でまたは本明細書中で定義していなければ、非芳香族複素環の窒素上の任意の置換基は、一般に、－R^+、－$N(R^+)_2$、－$C(O)R^+$、－CO_2R^+、－$C(O)C(O)R^+$、－$C(O)CH_2C(O)R^+$、－SO_2R^+、－$SO_2N(R^+)_2$、－$C(=S)N(R^+)_2$、－$C(=NH)-N(R^+)_2$または－$NR^+SO_2R^+$から選択される；ここで、R^+は、水素、必要に応じて置換した$C_{1\sim6}$脂肪族基、必要に応じて置換したフェニル、必要に応じて置換した－Ｏ（Ｐｈ）、必要に応じて置換した－CH_2（Ｐｈ）、必要に応じて置換した－$(CH_2)H_2$（Ｐｈ）、必要に応じて置換した－ＣＨ＝ＣＨ（Ｐｈ）；または非置換５員～６員ヘテロアリールまたは複素環（これは、０個～４個のヘテロ原子を有し、このヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素またはイオウから選択される）、または上記定義にもかかわらず、R^+の２個の別個の出現例は、同じ置換基または異なる置換基上にて、各R^+基が結合する原子と一緒になって、必要に応じて置換した３員～１２員の飽和、部分不飽和または完全不飽和の単環式または二環式の環を形成し、この環は、１個～４個のヘテロ原子を有し、このヘテロ原子は、別個に、窒素、酸素またはイオウから選択される。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７１】
３．代表的な化合物の説明
特定の例示的な実施形態において、Z^1はＮであり、以下の一般式ＩＩのアミノピリミジンが提供される：
【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７３】
特定の他の例示的な実施形態において、Z^1はＣＨであり、以下の一般式ＩＩＩのアミノピリミジンが提供される：
【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７７】
式Ｉおよびこれらのクラスおよびサブクラスの例示的な$(T)_mR^X$基および$(U)_nR^Y$基は、水素、ハロゲン、NO_2、ＣＮ、ＯＲ、ＳＲもしくはＮ（Ｒ）$_2$、またはオキソ、ＯＲ、ＳＲ、Ｎ（Ｒ）$_2$、ハロゲン、NO_2またはＣＮで必要に応じて置換されたC_{1-4}脂肪族である。ある実施形態において、$(T)_mR^X$基および$(U)_nR^Y$基は、水素、Ｍｅ、ＯＨ、ＯＭｅまたはＮ（Ｒ）$_2$である。他の実施形態において、$(T)_mR^X$および$(U)_nR^Y$は、各々水素である。
【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１５０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【０１５０】
上述の式ＩＶ、Ｖ、ＶＩおよびＶＩＩの化合物のそれぞれについての特定の例示的な部分集合としては、以下のような化合物が挙げられる：
ａ．　ｑが０または１であり、ZR^Zが－NH_2、－ＯＨ、C_{1-4}アルコキシ、または－SO_2NH_2であり；
ｂ．　R^3がＮＲＣＯR^7であり、ここで、R^7が$(CH_2)_t$－Ｙ－R^8であり、ｔが０または１であり、ＹがＮR^9であり、R^8およびR^9が、窒素原子と一緒に、ｓ、ｔ、ｕ、またはｖから選択される基を形成し、ここで、ｒは０または１であり、WR^W置換基は、ハロゲン、C_{1-4}アルキル、－$(R)_2$、－ＯＲ、－ＳＲ、－$SO_2N(R)_2$、－Ｎ（Ｒ）SO_2R、－Ｎ（Ｒ）ＣＯＲ、－$N(R)_2$、－CH_2OR、－$CH_2N(R)_2$、または－CH_2SRであり；かつ
ｃ．　R^4が、水素である、化合物。
【誤訳訂正１０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１８８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１８８】
経口投与用の固形剤形には、カプセル、錠剤、丸薬、粉剤および顆粒が挙げられる。このような剤形では、その活性化合物は、少なくとも１種の不活性で薬学的に受容可能な賦形剤または担体（例えば、クエン酸ナトリウムまたはリン酸二カルシウム）および／またはａ）充填剤または増量剤（例えば、デンプン、ラクトース、スクロース、グルコース、マンニトールおよびケイ酸）、ｂ）結合剤（例えば、カルボキシメチルセルロース、アルギン酸塩、ゼラチン、ポリビニルピロリドン、スクロースおよびアカシア）、ｃ）湿潤剤（例えば、グリセロール）、ｄ）崩壊剤（例えば、寒天、炭酸カルシウム、ジャガイモデンプンまたはタピオカデンプン、アルギン酸、ある種のケイ酸塩、および炭酸ナトリウム）、ｅ）溶解遅延剤（例えば、パラフィン）、ｆ）吸収促進剤（例えば、四級アンモニウム化合物）、ｇ）加湿剤（例えば、セチルアルコールおよびグリセロールモノステアレート）、ｈ）吸収剤（例えば、カオリンおよびベントナイト、粘土）、およびｉ）潤滑剤（例えば、タルク、ステアリン酸カルシウム、ステアリン酸マグネシウム、固形ポリエチレングリコール、ラウリル硫酸ナトリウム、およびそれらの混合物）と混合される。カプセル、錠剤、丸薬の場合には、これらの剤形はまた、緩衝剤を含み得る。

【誤訳訂正１１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０２１８
【訂正方法】削除
【訂正の内容】